■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

デジタルフォトプリンター／フレームの商品や最新サポート情報（製品に関するQ&A、OS対応情報など）はこちらのホームページから

http://support.d-imaging.sony.co.jp/www/s-frame/index.html
http://support.d-imaging.sony.co.jp/www/printer/index.html

メモリースティック対応表

使用可能な“メモリースティック”を確認できます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください。）

よくあるお問い合わせ、解決方法などは、ホームページをご活用ください。 http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511
受付時間 月～金：9:00～18:00
土・日・祝日：9:00～17:00

修理相談窓口
フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。
受付時間 月～金：9:00～20:00
土・日・祝日：9:00～17:00

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「403」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同封のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。

http://www.sony.co.jp/dpp-regi/

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

この説明書は VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

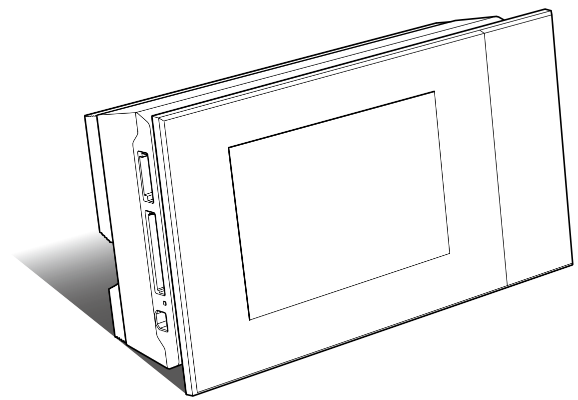
http://www.sony.co.jp/ Printed in China

SONY

4-155-700-06(1)

デジタルフォトプリンター／フレーム

DPP-F700



取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と、別紙「はじめにお読みください」および「プリントパックについて」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MEMORY STICK™ SUPER COAT 2

S-Frame

© 2009 Sony Corporation

別紙の「はじめにお読みください」、「プリントパックについて」もお読みください。

⚠警告　安全のために

➡108 ～ 112 ページもあわせてお読みください。

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

108 ～ 112 ページの注意事項をよくお読みください。

⬇

定期的に点検する

1 年に 1 度は、電源コードに痛みがないか、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

⬇

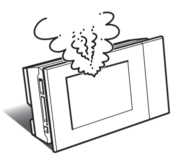
故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体またはリモコンが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

⬇

万一異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡

❶ **電源を切る**
❷ **電源プラグをコンセントから抜く**
❸ **お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電


注意


手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


接触禁止


ぬれ手禁止

行為を指示する記号


指示


プラグをコンセントから抜く

本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

ACアダプターは容易に手が届くようなコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

各種CD、TV映像、画像等著作権の対象となっている著作物、その他あなたが撮影、制作した映像以外のものを複製、編集、印刷することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物、編集物、印刷物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製、編集、印刷や、複製物、編集物、印刷物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。また、本機においての写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することになりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。なお、実演、興行、展示物の中には撮影を限定している場合がありますのでご注意ください。

記録内容の保証はできません
万一、本製品の不具合により、プリントや記録ができなかった場合、および記録内容が破損または消去された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

バックアップのおすすめ
万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

ご注意

- 画面に表示される画像と実際にプリントされる画像では、画質または色が異なる場合があります。これは、発色方法の違いや液晶画面個々の特性の違いによるもので、故障ではありません。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 液晶画面を太陽に向けたままにしないでください。故障の原因となります。
- 液晶画面は有効画素 99.99% 以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。なお、これらの点は印刷されません。
- 寒い場所で使うと、画面が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

目次

お使いになる前に

使ってみましょう（基本編）

フォトフレームとして使う

プリンターとして使う

いろいろな機能を使ってみましょう（応用編）

いろいろなプリントを楽しめます（応用編）

本機の設定を変更する

コンピューターとの接続でもっと便利に使えます

コンピューターとつないで使う

本機の内蔵メモリーを使う

コンピューターからプリントする

困ったときは

その他

本書で使われているイラストは実際のものと異なる場合があります。

お使いになる前に

特長

フォトフレームとして。プリンターとして。楽しみかたいろいろ。

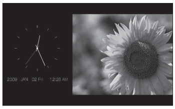
ソニーデジタルフォトプリンター／フレーム DPP-F700 は、デジタルカメラなどで撮影した画像を、コンピューターを使用せずに簡単にディスプレイに表示することができたり、またお気に入りの画像をその場でプリントアウトすることができます。

フォトフレームとしての楽しみかた

- **写真スライドショーを楽しむ（→38 ページ）**

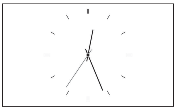

シングル表示

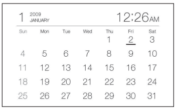

マルチ表示


時計表示


カレンダー表示

- **さまざまな表示で楽しむ（→26 ～ 28 ページ）**

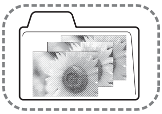

時計表示

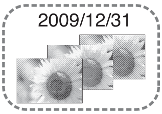

カレンダー表示


一枚表示

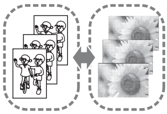

インデックス表示

- **表示する写真を指定して楽しむ (→48 ページ)**


フォルダーで
絞り込み

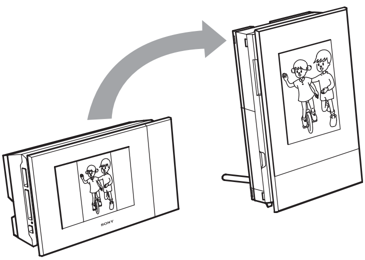


日付で絞り込み

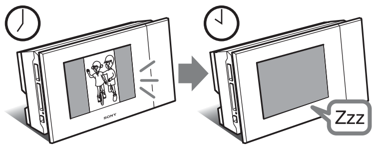

縦写真／横写真で
絞り込み


マークで絞り込み

- **縦置き・横置きで写真を楽しむ**
（→20 ページ）

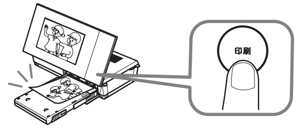


- **好きな時間に写真を表示する**
（→50 ページ）



プリンターとしての楽しみかた

- 画面の写真を見たままプリント（→34 ページ）



- いろいろなプリントを楽しむ（→54 ページ）



日付プリント



フチあり／フチなし印刷



割付け印刷

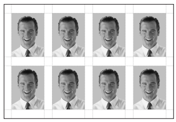
- お好みの写真でカレンダー、分割写真、証明写真を作成する（→55 ページ）



カレンダー



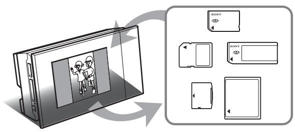
分割写真



証明写真

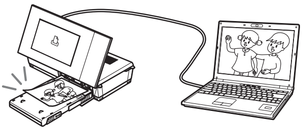
こんなこともできます

- **画像を内蔵メモリーに取り込み（→41 ページ）**
  お手持ちのメモリーカードの画像を内蔵メモリーに取り込むことができます。



- **画像の書き出し（→44 ページ）**
  内蔵メモリー内の画像をメモリーカードに書き出すことができます。

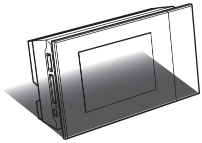
- コンピューターとつないで、画像のやりとりや印刷が可能（→68 ページ）



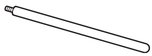
同梱品を確認する

梱包箱から取り出したら、次の同梱品がそろっているか確認してください。

- デジタルフォトプリンター／フレーム（1 台）



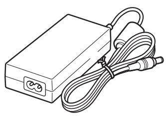
- スタンド（1 本）



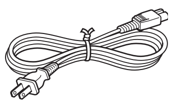
- リモコン（1 個）



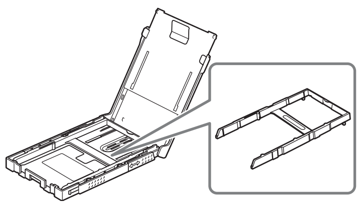
- AC アダプター（1 個）



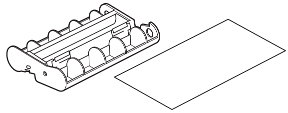
- 電源コード（1 本）



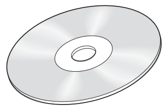
- ペーパートレイ／L サイズ用アダプター（1 個）



- クリーニングカートリッジ（1 個）
- クリーニングシート（1 枚）



- CD-ROM（1 枚）
  Windows 用プリンタードライバー ver. 1.0、PMB（Picture Motion Browser）ver. 4.3



- 取扱説明書（本書）（1 部）
- はじめにお読みください（1 部）
- 保証書（1 部）
- カスタマー登録のご案内（1 部）
- プリントパックについて（1 部）
- ソフトウェア使用許諾契約書（1 部）

ソニー専用プリントパック（別売）について

ソニー専用プリントパックをご使用ください。ソニー専用プリントパック以外は使用できません。

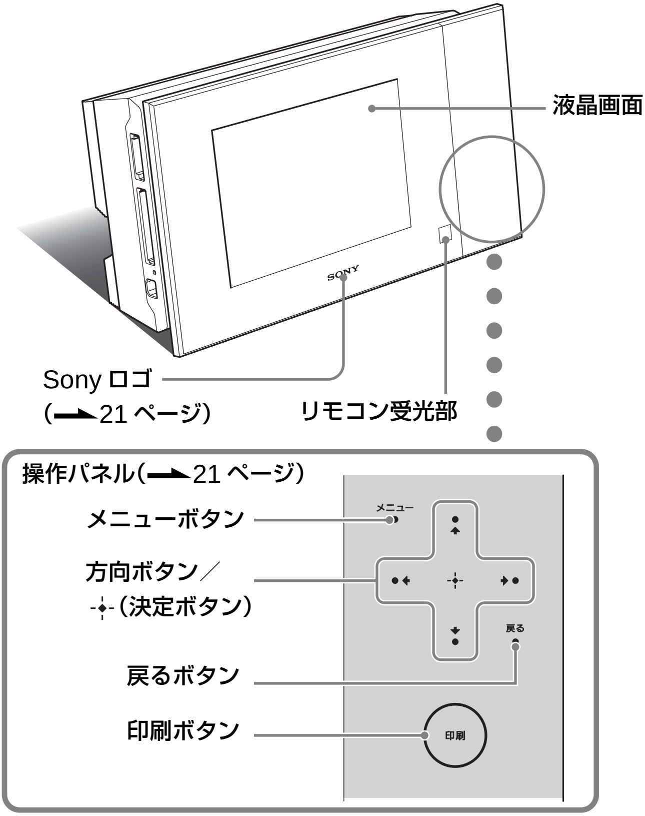
付属の電源コードについて

付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

各部の名前

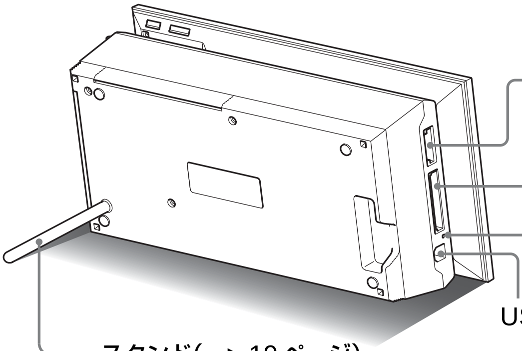
詳しい説明は、（　）内のページをご覧ください。

本体前面

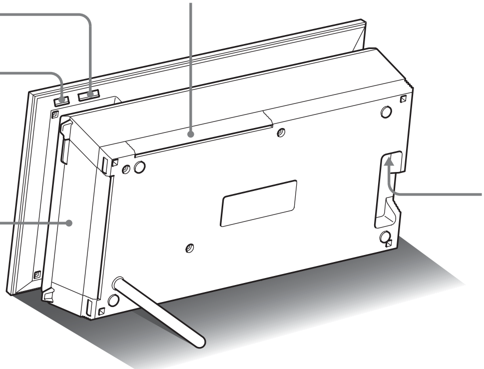


次のページにつづく

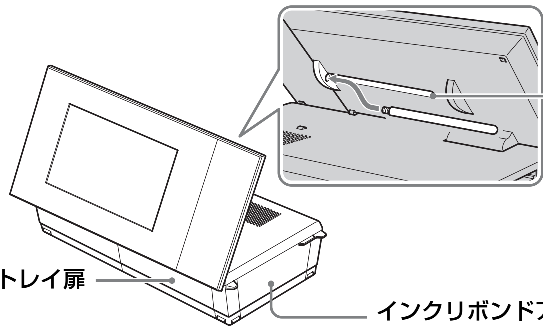
本体背面



"メモリースティック"（スタンダード／デュオ）／ SD メモリーカード／ MMC ／ xD-Picture Card スロット（→23 ページ）
コンパクトフラッシュカードスロット（→23 ページ）
アクセスランプ
USB B 端子（→70 ページ）
スタンド（→19 ページ）

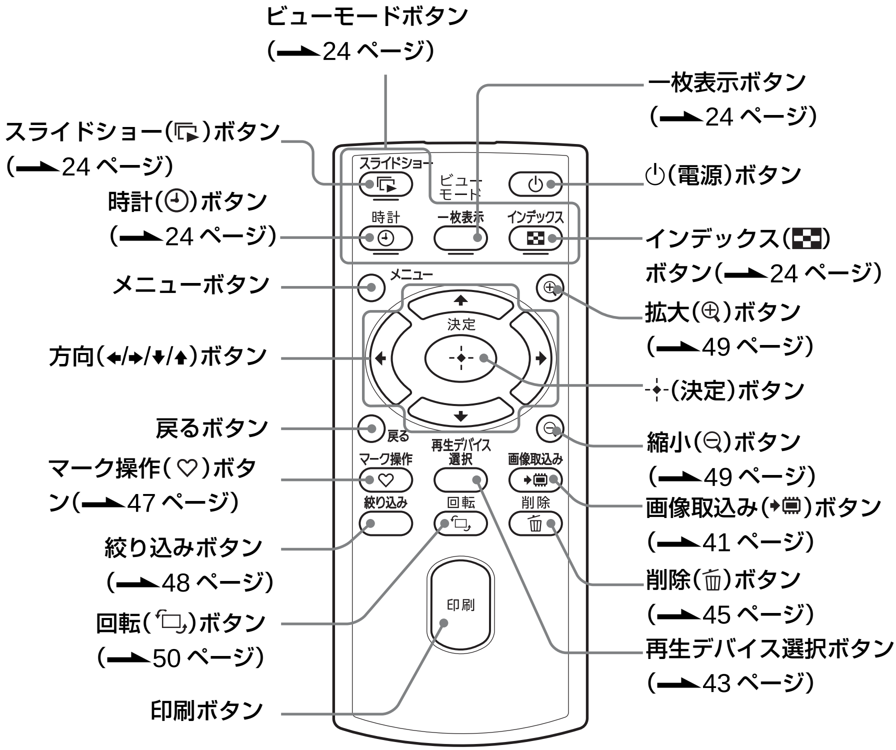


ビューモード（表示モード）ボタン（→24 ページ）
通紙扉（→34 ページ）
⏻（電源）ボタン／スタンバイランプ
インクリボンドア
DC IN 24V 端子（→20 ページ）



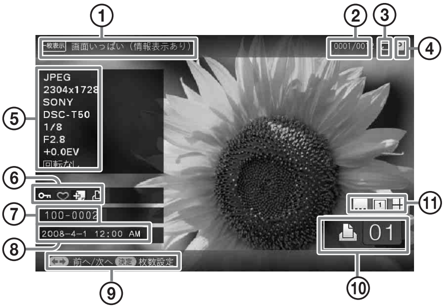
スタンド収納部
ペーパートレイ扉
インクリボンドア

リモコン

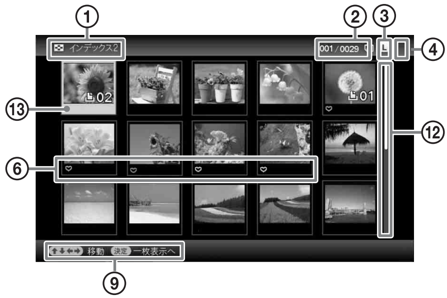

ビューモードボタン
(→24 ページ)
スライドショー( )ボタン
(→24 ページ)
時計( )ボタン
(→24 ページ)
メニューボタン
方向(←/→/↓/↑)ボタン
戻るボタン
マーク操作(♡)ボタン(→47 ページ)
絞り込みボタン
(→48 ページ)
回転( )ボタン
(→50 ページ)
印刷ボタン
一枚表示ボタン
(→24 ページ)
(電源)ボタン
インデックス( )
ボタン(→24 ページ)
拡大( )ボタン
(→49 ページ)
(決定)ボタン
縮小( )ボタン
(→49 ページ)
画像取込み( )ボタン
(→41 ページ)
削除( )ボタン
(→45 ページ)
再生デバイス選択ボタン
(→43 ページ)
スライドショー
ビュー
モード
時計
一枚表示
インデックス
メニュー
決定
戻る
マーク操作
再生デバイス
選択
画像取込み
絞り込み
回転
削除
印刷

画面に表示される情報

一枚表示時



インデックス表示時



次の情報を表示します。

	項目	内容
①	表示スタイル	画面のスタイルが表示されます。 一枚表示時 • 画像全体 • 画面いっぱい • 画像全体（情報表示あり） • 画面いっぱい（情報表示あり） インデックス表示時 • インデックス 1 • インデックス 2 • インデックス 3
②	表示画像番号／全画像数	表示されている画像の表示画像番号、全画像数が表示されます。
③	再生デバイス情報	表示されている画像の入力メディア情報が表示されます。 • （内蔵メモリー入力） • （"メモリースティック"入力） • （コンパクトフラッシュカード入力） • （SD メモリーカード入力） • （xD-Picture Card 入力）

	項目	内容
④	インクリボン種類表示	挿入されているインクリボンの種類が表示されます。 • P（P サイズ） • L（L サイズ） • C（クリーニングカートリッジ）
⑤	画像詳細表示	画像の詳細情報が表示されます。 • ファイル形式 （JPEG（4:4:4）、JPEG（4:2:2）、JPEG（4:2:0）、BMP、TIFF） • 画素数（画像の幅×画像の高さ） • 画像入力機器のメーカー名 • 画像入力機器のモデル名 • 露出時間（例：1/8） • 絞り値（例：F2.8） • 露出補正値（例：＋ 0.0EV） • 回転情報
⑥	設定情報	設定情報が表示されます。 • （プロテクト表示） • （関連付けファイル表示） （E メール用の小さな画像や動画などの関連ファイルがあるときに表示されます。） • （マークを付けた場合に表示されます。） • （DPOF） （DPOF（Digital Print Order Format）でプリント予約された画像にのみ表示されます。）
⑦	画像番号 （フォルダー-ファイル番号）	DCF 準拠の画像の場合、表示されます。非 DCF の画像の場合は、ファイル名が表示されます。 ただし、コンピューターで表示されるものと異なる場合があります。
⑧	撮影年月日･撮影時間	表示されている画像の撮影年月日･撮影時間が表示されます。
⑨	ガイドメッセージ	操作の手順などが表示されます。
⑩	プリント設定枚数	設定したプリント枚数が表示されます。

次のページにつづく

	項目	内容
⑪	プリント設定情報	日付プリント、フチありプリント、割付け印刷などのプリント設定情報が表示されます。（印刷ポジション時（29 ページ）のときのみ表示されます。） • （日付プリント ON 表示） • （日付時間プリント ON 表示） • （フチあり 1 ON 表示） • （フチあり 2 ON 表示） • （割付け印刷 4 ON 表示） • （割付け印刷 9 ON 表示） • （割付け印刷 16 ON 表示）
⑫	スクロールバー	全画像、または絞り込み結果（48 ページ）内でのこの画像の位置が表示されます
⑬	カーソル	←/→/↓/↑ ボタンを押して、カーソルの位置（選択画像）を移動できます。

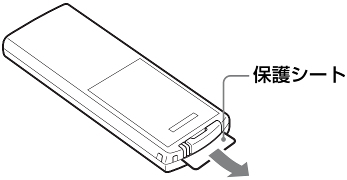
使ってみましょう（基本編）

フォトフレームとして使う

プリンターとして使う

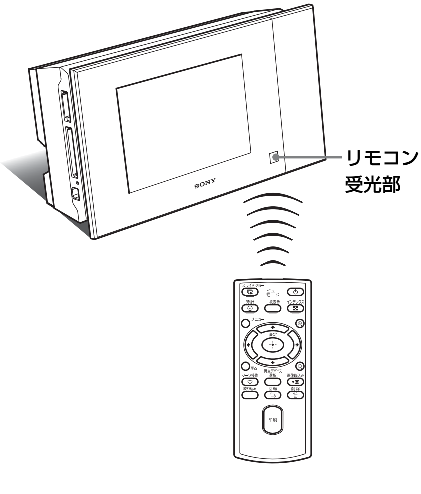
リモコンを準備する

付属のリチウム電池（CR2025）があらかじめリモコンの中に入っています。図のように保護シートを引き抜いてから使用してください。



リモコンを使うときは

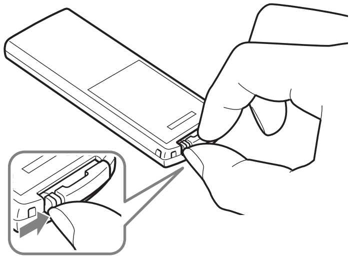
リモコンの先端を、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。



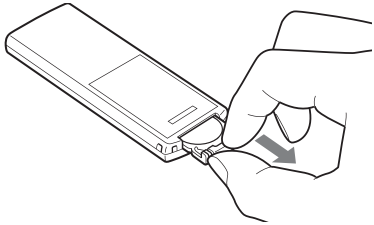
リモコンの電池を交換するときは

リモコンが動作しなくなったら、新しい電池（CR2025 リチウム電池）に交換してください。

1 タブを内側に押す。



2 電池ホルダーを引き出す。



3 新しい電池を入れ、電池ホルダーを元どおりリモコンに挿入する。

電池の＋が上になるように入れてください。

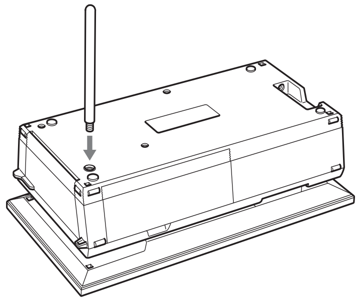
ご注意

- 指定以外の電池を使うと、破裂のおそれがあります。
- 使用済みの電池は、自治体の定めた方法で処分してください。
- 高温多湿の場所にリモコンを放置しないでください。
- 電池の交換時などに、リモコン内部に異物が入らないようにしてください。

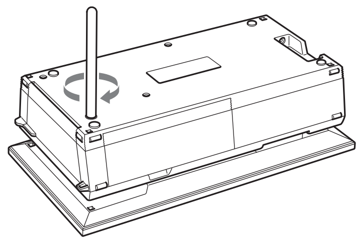
- 電池は正しく使わないと、液漏れや腐敗のおそれがあります。
  – 充電はしないでください。
  – リモコンを長期間使用しないときは、液漏れや腐敗を防ぐため、電池をリモコンから抜いてください。
  – 間違った入れ方をしたり、ショートさせたり、分解、加熱、火中に投入したりすると、破裂や液漏れのおそれがあります。

スタンドをセットする

1 **本機を固定し、背面のネジ穴に対してまっすぐにスタンドを差し込む。**



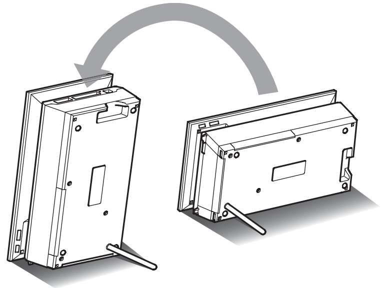
2 **スタンドが回らなくなるまでネジ穴にしっかりとねじ込む。**



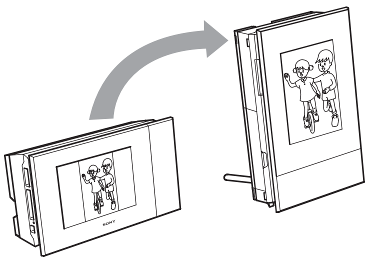
次のページにつづく

縦または横にする

本機は、スタンド部を動かさずに、本体を回転させることにより、縦横どちらでもセットすることができます。



縦にして、操作ボタンが下にくるようにすると、表示も自動的に回転します。



ご注意

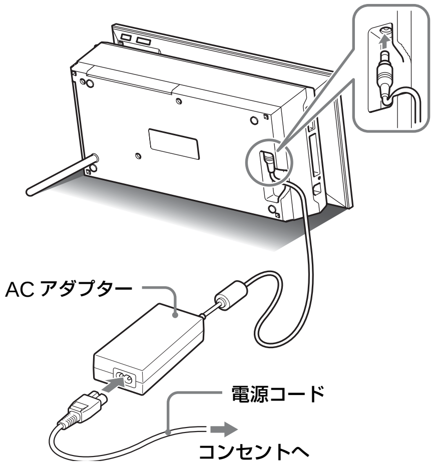
- スタンドが安定しているかどうかご確認ください。中途半端な状態で立てると、倒れる場合があります。
- 縦置き、または電源 OFF 時には、Sony ロゴは点灯しません。
- 手動で画像を回転させることもできます。（50 ページ）
- 写真をプリントする場合は、印刷ポジションにしてください。（29 ページ）

電源をつなぐ

1 **AC アダプターのプラグを本体背面の DC IN 24 V 端子につなぐ。**

2 **電源コードのプラグを AC アダプターとコンセントに差し込む。**

自動的に電源が入ります。



ご注意

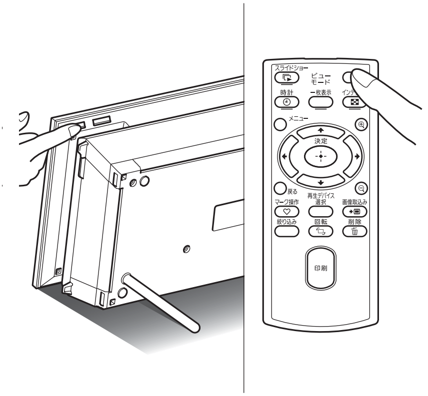
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。
- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 使用しないときは、AC アダプターを本機の DC IN 24V 端子から、電源コードをコンセントから取りはずしてください。

電源を入れる

前ページの準備で、電源がすでに入っている場合は、ここでの操作は不要です。

電源を入れる

本体またはリモコンの ⏻（電源）ボタンを押します。本体のスタンバイランプが赤から緑に変わります。本体前面の Sony ロゴが点灯します。



電源を切る

本体またはリモコンの ⏻（電源）ボタンを電源が切れるまで押し続けます。本体のスタンバイランプが緑から赤に変わり、スタンバイモードになります。

ご注意

- スタンバイランプが赤に変わる前に、AC アダプターをコンセントや DC IN 24V 端子から抜かないでください。故障の原因となることがあります。

本書での説明について

取扱説明書内の操作は、リモコン操作を基本に説明をしています。リモコンと本体ボタンで操作が異なる場合は「ちょっと一言」で説明をしています。

本機の操作パネルについて

液晶画面の右側にある操作パネルは、手で触れると点灯します。

約 30 秒操作パネルに触れない場合は、自動的に消灯します。

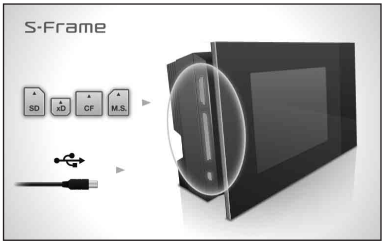
印刷ボタンは、印刷可能なときのみ点灯します。

ご注意

- 操作パネル上のボタンは、点灯中のみ操作可能です。

初期画面について

メモリーカードを挿入しないで電源を入れると、下の初期画面が表示されます。



何も操作せずに 10 秒が経過すると、デモモードが表示されます。デモモードで電源以外のボタンを押すと、初期画面に戻ります。

まずはじめに、初期画面でメニューボタンを押して、メニュー画面から現在日時を設定してください。（22 ページ）

現在日時を設定する

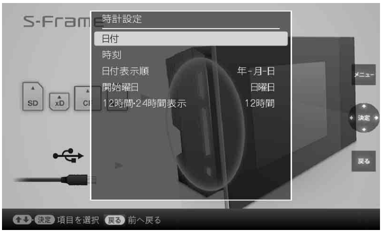
1　メニューボタンを押す。

2　←/→ ボタンで （設定）タブを選ぶ。

ちょっと一言

時計･カレンダー表示（26 ページ）に設定されていない場合のみ ←/→ ボタンが有効となります。

3　↓/↑ ボタンで［時計設定］を選び、-◆-ボタンを押す。



4　日付を合わせる。

① ↓/↑ ボタンで［日付］を選び、-◆-ボタンを押す。

② ←/→ ボタンで年、月、日を選び、↓/↑ ボタンで数値を設定し、-◆-ボタンを押す。

5　時間を合わせる。

① ↓/↑ ボタンで［時刻］を選び、-◆-ボタンを押す。

② ←/→ ボタンで時、分、秒を選び、↓/↑ ボタンで数値を設定し、-◆-ボタンを押す。

6　日付の書式を選ぶ。

① ↓/↑ ボタンで［日付表示順］を選び、-◆-ボタンを押す。

② ↓/↑ ボタンで書式を選び、-◆-ボタンを押す。

- 年 - 月 - 日
- 月 - 日 - 年
- 日 - 月 - 年

7　カレンダーの開始曜日を設定する。

カレンダー表示時にカレンダーの左端の曜日を設定することができます。

① ↓/↑ ボタンで［開始曜日］を選び、-◆-ボタンを押す。

② ↓/↑ ボタンで［日曜日］または［月曜日］を選び、-◆-ボタンを押す。

8　時間表示を選ぶ。

① ↓/↑ ボタンで［12 時間・24 時間表示］を選び、-◆-ボタンを押す。

② ↓/↑ ボタンで時間表示を選び、-◆-ボタンを押す。

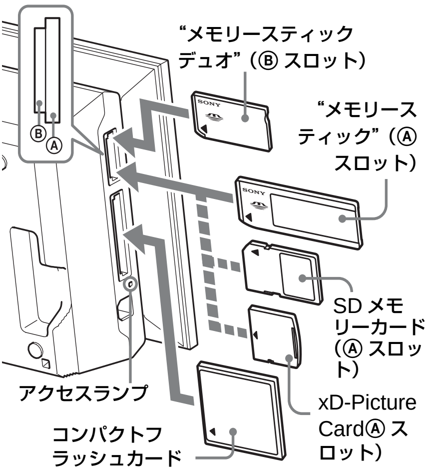
9　メニューボタンを押す。

メニュー画面が終了します。

メモリーカードを入れる

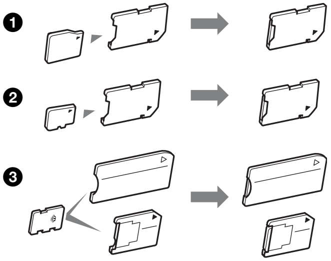
本体背面から見て、メモリーカードの表面を手前にして、それぞれのスロットにしっかりと奥まで入れる。

メモリーカードが正しく挿入されると、アクセスランプが点滅します。アクセスランプが点滅しない場合は、挿入向きを確認し、再度メモリーカードを差し込んでください。



ご注意

- miniSD❶、microSD❷ または“メモリースティック マイクロ”❸ をお使いの場合は、必ずカードアダプターを装着してください。



本機で使用できるメモリーカードの詳細については、100 ～ 102 ページ、表示できるファイルフォーマットに関しては 103 ページをご覧ください。

メモリーカードを挿入すると

メモリーカードを挿入すると、カード内の画像が自動的に表示されます。画像表示中に電源を切った場合は、再度電源を入れると画像は続きから再生されます。

ご注意

- 時計･カレンダー表示中は、画面表示を「スライドショー」「一枚表示」もしくは「インデックス」に切り換えてください（➡24 ページ）。

再生デバイスを切り換えるには

再生デバイス選択ボタンを押してください（➡44 ページ）。

メモリーカードを取り出すには

本機のそれぞれのスロットから、メモリーカードを挿入した方向と逆の方向へ取り出します。

アクセスランプ点滅中は取り出さないでください。

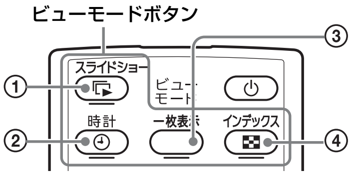
ご注意

- 本機には、“メモリースティック”スタンダード／デュオ対応スロットが搭載されていますので、“メモリースティック”アダプターは不要です。
- “ メモリースティック ”（スタンダード／デュオ）／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card 兼用スロットは、自動的にカードタイプを検出します。
- Ⓐ、Ⓑ スロットへ同時にメモリーカードを挿入しないでください。同時に挿入すると、正常に動作しません。

画面表示を切り換える

ビューモードボタンで表示スタイルを切り換えることができます。

1 お好みの表示のビューモードボタンを押す。



押したボタンのビューモード画面が表示されます。

①

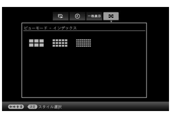

スライドショー表示
(→25 ページ)

②


時計・カレンダー表示
(→26 ページ)

③


一枚表示
(→27 ページ)

④


インデックス表示
(→28 ページ)

ちょっと一言

- 本体から操作する場合は、液晶画面の背面上部にあるビューモードボタンを押し、↑ボタンでカーソルを表示選択エリアへ移動させてから、←/→ボタンでお好みの表示を選択してください。
- 本体のビューモードボタンを繰り返し押して、表示選択エリア内でカーソルを移動させてお好みのビューモード画面に切り換えることもできます。



2 ←/→/↓/↑ボタンでお好みのスタイルを選び、◆ボタンを押す。

選択したスタイルの画面が表示されます。

ちょっと一言

- カーソルが表示選択エリアにあるときは、↓ボタンでカーソルをスタイル選択エリアへ移動させてください。
- 表示されているビューモード画面のボタン（、一枚表示、、）や本体のビューモードボタンを繰り返し押して、スタイル選択エリア内でカーソルを移動させることもできます。

ご注意

- 一定時間操作が行われないと、カーソル上のスタイルが自動で決定されます。

スライドショー表示

ここでは、スライドショー表示のスタイルを紹介します。

表示	スタイル	説明
スライドショー	 シングル表示	1 つの画面を、次々と表示するスタイルです。
	 マルチ表示	複数画像を用いて表示するスタイルです。
	 時計表示	現在の日時を表示しながら、画像を次々に表示するスタイルです。
	 カレンダー表示	カレンダーを表示しながら、画像を次々に表示するスタイルです。現在の日時も表示されます。
	 タイムマシン	撮影日時を表示しながら、画像を次々に表示するスタイルです。現在の日時は表示されません。
	 ランダム表示	複数のスライドショーと複数のエフェクトをランダムに切り換えながら表示するスタイルです。 ＜画像をランダムに表示させる場合＞ [スライドショー設定]の[シャッフル再生]を[ON]にした場合に利用できます。(40 ページ)

ちょっと一言

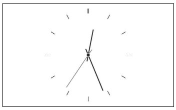
- スライドショーの切り換え間隔、エフェクト、再生順の指定、カラー効果、画像表示は「スライドショーの設定を変更する」(39 ページ)で設定できます。
- スライドショー中、-✦-ボタンを押すと、一枚表示画面になります。
- スライドショー中、電源を切った場合、再度電源を入れるとスライドショーは続きから再生されます。

時計・カレンダー表示

ここでは、時計・カレンダー表示のスタイルを紹介します。



時計 1



時計 2



時計 3



時計 4



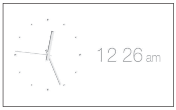
時計 5



時計 6



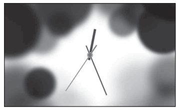
時計 7



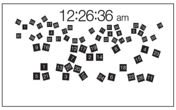
時計 8



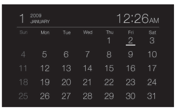
時計 9



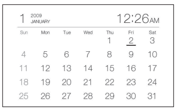
時計 10



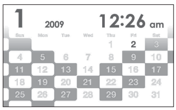
時計 11



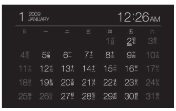
カレンダー1



カレンダー2



カレンダー3



陰暦
カレンダー
（中国語（簡体字）
設定時）



アラビア
カレンダー
（アラビア語設定時）



ペルシア
カレンダー
（ペルシア語設定時）

ご注意

- 時計･カレンダー表示中は、メニューの （設定）タブのみ操作できます。

一枚表示

ここでは、一枚表示のスタイルを紹介します。

表示	スタイル	説明
一枚表示	 画像全体	画像全体をそのまま表示します。 ◆/◆ ボタンで表示する画像を切り換えます。
	 画面いっぱい	画像を全画面に表示します。 （画像の縦横比によっては、画像のふちの一部が表示されない場合があります。） ◆/◆ ボタンで表示する画像を切り換えます。
	 画像全体 （情報表示あり）	画像全体を表示した状態で画像番号、ファイル名、撮影年月日などの画像情報を表示します。 ◆/◆ ボタンで表示する画像を切り換えます。 表示される画像情報については、「画面に表示される情報」（14 ページ）をご覧ください。
	 画面いっぱい （情報表示あり）	画像を全画面に表示した状態で画像番号、ファイル名、撮影年月日などの画像情報を表示します。 （画像の縦横比によっては、画像のふちの一部が表示されない場合があります。） ◆/◆ ボタンで表示する画像を切り換えます。 表示される画像情報については、「画面に表示される情報」（14 ページ）をご覧ください。

インデックス表示

ここでは、インデックス表示のスタイルを紹介します。

表示	スタイル	説明
インデックス表示	 インデックス 1	大きいサムネイルの一覧が表示されます。 ←/→/↓/↑ ボタンでカーソルを動かし表示する画像を切り換えます。
	 インデックス 2	サムネイルの一覧が表示されます。 ←/→/↓/↑ ボタンでカーソルを動かし表示する画像を切り換えます。
	 インデックス 3	小さいサムネイルの一覧が表示されます。 ←/→/↓/↑ ボタンでカーソルを動かし表示する画像を切り換えます。

ちょっと一言

- サムネイルとは、デジタルカメラで撮影した画像ファイルに記録されている、見出し用の小さいサイズの画像のことです。
- インデックス表示中、←/→/↓/↑ ボタンで画像を選び、-◆-ボタンを押すと、一枚表示画面になります。

準備する

本機をプリンターとして使うには次の準備をします。

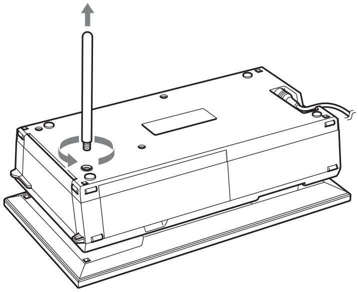
リモコンを準備する　（18 ページ）
電源をつなぐ　（20 ページ）
印刷ポジションにする　（29 ページ）
インクリボンを入れる　（30 ページ）
プリントペーパーを入れる　（31 ページ）
電源を入れる　（21 ページ）

- リモコンと電源については「フォトフレームとして使う」（18 ページ）の説明をご覧ください。

印刷ポジション（平置き）にする

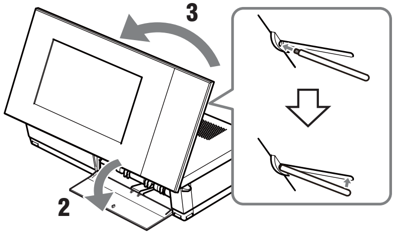
プリンターとして使う際には、次の手順で本機を平置きにします。

1 スタンドをはずす。



2 平置き（印刷ポジション）にしてペーパートレイ扉を開ける。

3 画面を立てる。



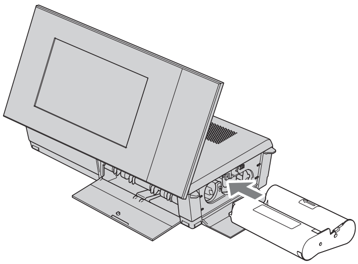
ご注意

- 本機を印刷ポジションで使用する際は、スタンドを取りはずし､本体背面のスタンド収納部に収納してください。
  スタンドが本体内蔵の磁石により吸着固定されます。
- 磁石に影響を受けやすいキャッシュカードやクレジットカードなどを近くで保管しないでください｡テレビのブラウン管のそばに置くとテレビの画面の色が変わることがあります。

インクリボンを入れる

1 インクリボンドアを手前に開ける。

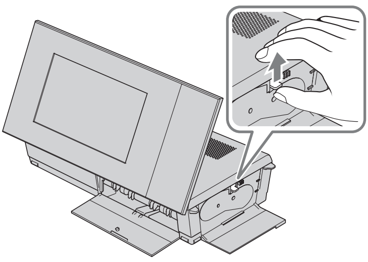
2 インクリボンを矢印の方向に「カチッ」とロックするまで奥へ差し込む。



3 インクリボンドアを閉める。

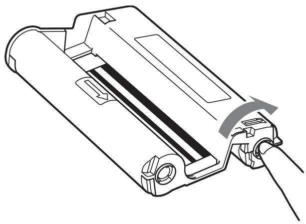
インクリボンを取り出すには

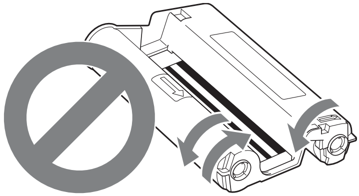
青色の取り出しレバーを上に押して、インクリボンを取り出します。



ご注意

- インクリボンは、L サイズ用と、P サイズ用の 2 種類があります。プリントペーパーとインクリボンの組み合わせが正しくないと印刷できません。
- プリントペーパーと同じ箱に入っているインクリボンをご使用ください。
- インクリボンのインクに触れないでください。インクに指紋やほこりが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。
- リボンを巻き戻してプリントしないでください。正常なプリント結果が得られず、故障の原因にもなります。インクリボンがうまく入らないときは、いったんインクリボンを取り出してから、入れ直してください。リボンがたるんでうまく入らない場合のみ、インクリボンの芯を押し込みながら矢印の方向に回してリボンのたるみを取ってください。





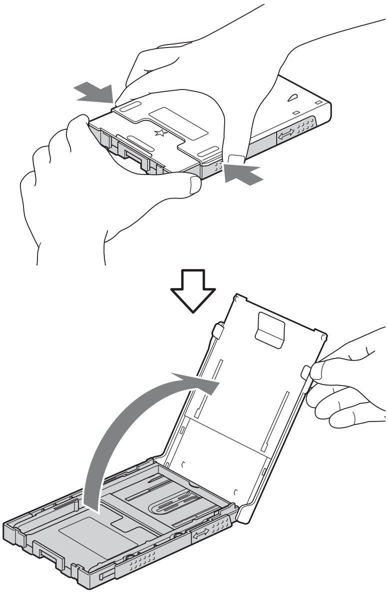
矢印の方向には回さないでください。

- インクリボンは分解しないでください。
- インクリボンからリボンを引き出さないでください。
- プリント中はインクリボンを取り出さないでください。
- インクリボンは湿度や温度の高いところ、埃の多い所、直射日光のあたるところは避け、なるべく冷暗所に保存し早めのご使用をおすすめします。保存状態によっては変退色する場合があり、このようなインクリボンのご使用による印画結果の補償、代償はいたしかねますので、ご容赦ください。

プリントペーパーを入れる

1　ペーパートレイのカバーを上に開ける。

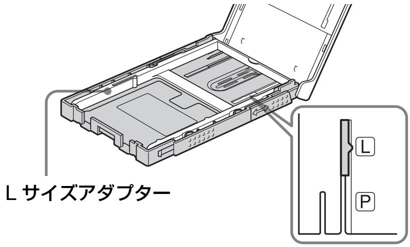
横の矢印の部分をつまんで、カバーを上に開きます。



2　お使いになるペーパーサイズに合わせてペーパートレイを準備する。

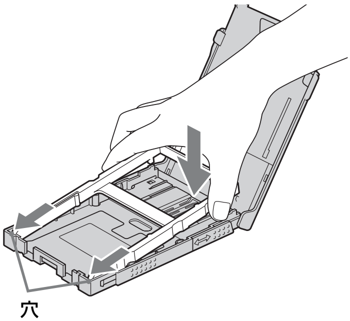
■L サイズの場合

L サイズアダプターを取り付けたままで使用します。



L サイズアダプターを取り付けるには

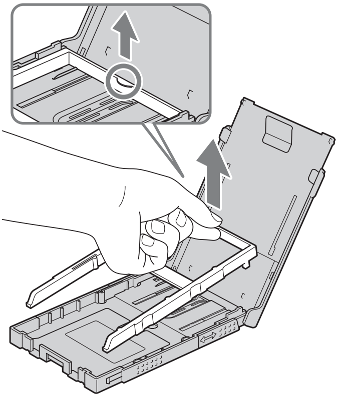
L サイズアダプターのツメをトレイ先端の 2 つの穴に合わせて、アダプター後部を下ろします。



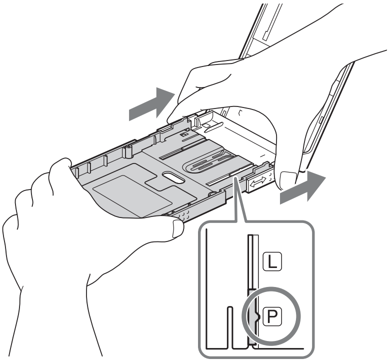
次のページにつづく

■P サイズの場合

L サイズアダプターの後ろ中央部分を持ち、上にはずします。

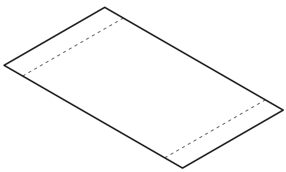


ペーパートレイを矢印方向にスライドさせ、「カチッ」と止まるまでのばします。底面の矢印（▲）が、「P」の位置に合っているか確認してください。

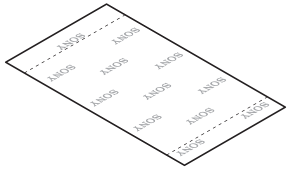


プリントペーパーの表裏を確認してください。

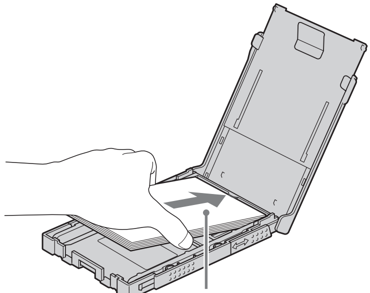
表面

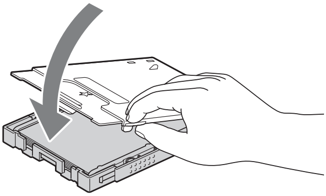


裏面



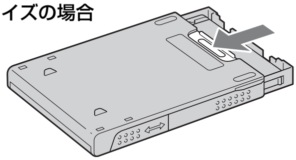
3 ペーパートレイにプリントペーパーを入れる。



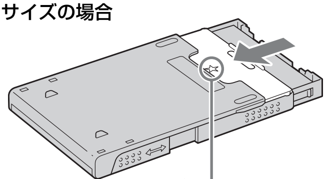


4 スライドカバーを開ける。

L サイズの場合



P サイズの場合



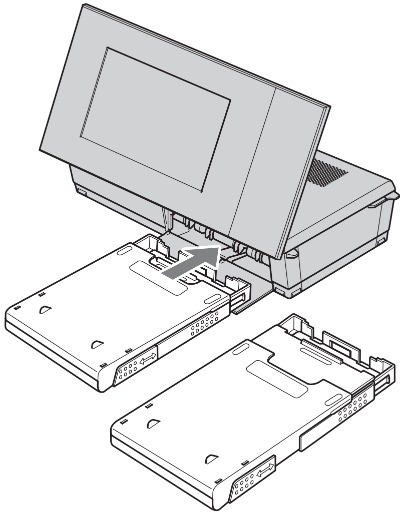
ご注意

- ペーパートレイには、20 枚まで入れられます。プリントペーパーをよくさばいてから、保護シートを上にして入れます。保護シートは取り除きます。
- 保護シートがない場合は、プリント面(白無地)を上にして入れます。
- プリント面には触れないでください。プリント前に汚れや指紋が付着しますと、プリント結果に影響があります。
- プリント前にプリントペーパーを折り曲げたり、プリントペーパーのミシン目を切り離したりしないでください。
- プリントする前のプリントペーパーについて、故障を避けるために、以下の点にご注意ください。
  - 字を書かない。
  - 切手やシールを貼らない。
  - プリントペーパーをトレイに追加する場合、総量が 20 枚を超えないようにする。
  - 違う種類のプリントペーパーをトレイに重ねて入れない。
  - 一度使用したプリントペーパーでプリントしない。(同じ画像を重ねてプリントしても、濃くなりません。)
  - 指定以外のプリントペーパーは使用しない。
  - 一度白紙で排出されたプリントペーパーでプリントしない。

保存上のご注意

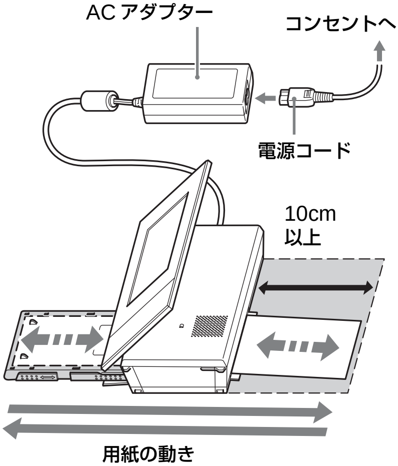
- プリントペーパーをペーパートレイに入れたまま保管する場合は、ペーパートレイをプリンター本体から取りはずしてスライドカバーを閉じて保管してください。
- プリント面どうしを重ね合わせて保存したり、プリント面を塩化ビニールや可塑剤が入ったプラスチックや消しゴムに長時間触れさせないでください。変退色することがあります。
- 温度や湿度の高いところ、ホコリの多い所、直射日光のあたるところでの保存は避けてください。
- 使用途中でペーパートレイから取り出して保存する場合は、プリントペーパーの入っていた袋などに入れて保存してください。

5 ペーパートレイを本体に差し込む。



次のページにつづく

プリントする前に
本機を印刷ポジション（平置き時）にすると、自然に通紙扉が開くようになっていますが、印刷前に通紙扉がきちんと開いているかご確認ください。
プリント時、背面からも何度かプリントペーパーが出てきます。AC アダプターや電源コードで通紙扉をふさがないよう、背面のスペースは 10 cm 以上とるようにしてください。



プリントしてみよう

メモリーカードや本機の内蔵メモリー内の画像を液晶画面に表示し、選んだ画像をプリントする方法（ダイレクトプリント）を説明します。

接続したコンピューターの画像をプリントするには、「コンピューターからプリントする」（74 ページ）をご覧ください。

一枚表示からプリントする

1 **⏻（電源）ボタンを押して、電源を入れる。**

2 **一枚表示に切り換える。**
表示の切り換え方法については、「画面表示を切り換える」（24 ページ）をご覧ください。

3 **←/→ ボタンで画像を選ぶ。**

4 **プリント枚数を設定する。**
表示している画像を 1 枚印刷する場合は、手順 5 へ進んでください。
一枚表示で画像を表示中に-✦-ボタンを押すと、画面の右下に  が表示されます。
↓/↑ ボタンでプリント枚数を設定し-✦-ボタンを押すと、一枚表示画面に戻り、設定したプリント枚数が表示されます。

5 **印刷ボタンを押す。**
プリントが開始されます。
手順 4 でプリント枚数を設定した画像が、設定した枚数分プリントされます。

複数の画像をプリントするには

手順 3、4 を繰り返します。

枚数を変更するには

変更したい画像を表示して、-✦-ボタンを押し、枚数を設定します。

「0」を選ぶと印刷がキャンセルされます。

ちょっと一言

- インデックス表示(28 ページ)で印刷ボタンを押すと、カーソル上の画像、およびプリント枚数が設定されている画像がプリントされます。
- インデックスプリントをする場合は、「まとめてプリント」(60 ページ)をご覧ください。

スライドショーからプリントする

表示されたスライドショーの画面を見たままにプリントすることができます。

1 ⏻（電源）ボタンを押して、電源を入れる。

2 スライドショー表示に切り換える。

表示の切り換え方法については、「画面表示を切り換える」（24 ページ）をご覧ください。

◆/◆ ボタンで画像を送ることができます。

3 印刷ボタンを押す。

印刷プレビュー画面が表示されます。



4 プリント枚数を設定する。

印刷プレビュー画面を表示中に-✦-ボタンを押すと、画面の右下に 01 が表示されます。

◆/◆ ボタンでプリント枚数を設定し-✦-ボタンを押すと、印刷プレビュー画面に戻り、設定したプリント枚数が表示されます。

5 印刷ボタンを押す。

プリントが開始されます。

印刷プレビュー画面で表示された画像がプリントされます。

ご注意

- 時計·カレンダー表示はプリントできません。
- プリント中に本機を動かしたり、電源を切ったりしないでください。インクリボンが取り出せなくなったり、紙づまりの原因になります。万一電源を切ってしまったときは、ペーパートレイを装着したまま電源を入れなおし、排紙後にプリント操作を最初からやり直してください。
- プリント中はペーパートレイを抜かないでください。故障の原因になります。
- プリント中はプリントペーパーが一時的に何度か出てきます。ペーパーに触ったり、引っ張ったりしないでください。
- プリントペーパーが詰まった場合は96 ページをご覧ください。
- 日付プリント／プリント仕上げ／割付け印刷は、一枚表示からの印刷のみ可能です。(54 ページ)

いろいろな機能を
使ってみましょう（応用編）

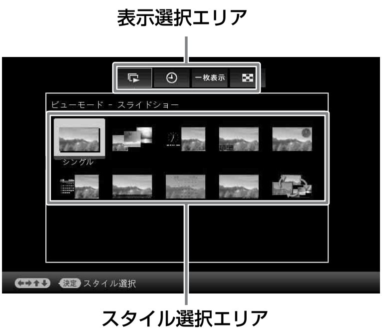
いろいろな機能を使う

スライドショーをもっと楽しむ

1 （スライドショー）ボタンを押す。

ちょっと一言

- 本体から操作する場合は、液晶パネルの背面上部にあるビューモードボタンを押し、↑ボタンでカーソルを表示選択エリアへ移動させてから、←/→ボタンで（スライドショー）を選択してください。
- 表示選択エリアにカーソルを移動させた場合、↓ボタンでカーソルをスタイル選択エリアへ移動させてください。
- スタイル選択エリアにカーソルがあるとき、ビューモードボタンを繰り返し押してエリア内でカーソルを移動させることもできます。



2 ←/→/↓/↑ボタンでお好みのスタイルを選び、決定ボタンを押す。



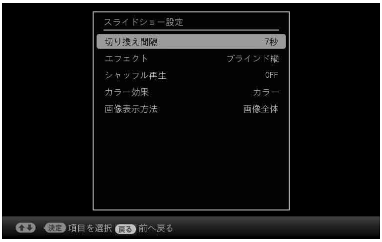
詳しくは、「スライドショー表示」（25 ページ）をご覧ください。

スライドショーの設定を変更する

1 **メニューボタンを押す。**

2 **←/→ ボタンで（設定）タブを選ぶ。**

3 **↓/↑ ボタンで［スライドショー設定］を選び、-◆- ボタンを押す。**



4 **↓/↑ ボタンで変更したい項目を選び、-◆- ボタンを押す。**

設定項目については、次ページの表をご覧ください。

ご注意

- メモリーカードからスライドショーを行う場合は以下にご注意ください。
  - メモリーカードはデバイスの特性上、読み出し回数の多さが原因でエラーが発生し、正しく画像が表示できなくなることがあります。
  - 少ない枚数での長時間のスライドショーはデータエラーの原因になりますのでおやめください。
  - メモリーカード内の画像の定期的なバックアップをお勧めします。
- スライドショー表示中など本体の状態によっては、設定できない項目があります。設定できない項目は灰色で表示され、選択できません。
- スタンバイモードにせずに電源を切ったり、リセットするとスライドショーは最初から始まります。
- 周囲の明るさに比べ、明るすぎる状態の画面を注視すると気分が悪くなる可能性があります。明るさの設定に注意してご使用ください。

項目	設定	内容	
スライドショー設定	切り換え間隔	画像を切り換える間隔を 3 秒、7 秒*、20 秒、1 分、5 分、30 分、1 時間、3 時間、12 時間、24 時間の間で設定します。 **ご注意** スライドショーのスタイルや画像サイズ、カラー効果によっては、設定した切り換え間隔で画像が切り換わらないことがあります。	
	エフェクト	センタークロス	前の画像を十字型に開いて、画像を切り換えます。
		ブラインド縦	ブラインドを縦に下ろすように、画像を切り換えます。
		ブラインド横	ブラインドを横に引くように、画像を切り換えます。
		フェード*	2 枚の画像をフェードアウト、フェードインで切り換えます。
		ワイプ	一方向へ前の画像を上から覆うように、画像を切り換えます。
		ランダム	上記の 5 種類のエフェクトをランダムに使用して画像を切り換えます。
	シャッフル再生	ON	画像をランダムに表示します。
		OFF *	本体設定の画像表示順に従って画像を表示します。
	カラー効果	カラー*	画像をカラーで表示します。
		セピア	画像をセピアで表示します。
		モノクロ	画像をモノクロで表示します。
	画像表示方法	表示サイズを次のいずれかから選びます。 **ご注意** 画像データ自体は変更されません。	
		画像全体*	画像全体を適切な大きさまで拡大して表示します。(上下左右に黒い帯が表示されることがあります。)
		画面いっぱい	画像の縦横比はそのままで、上下左右を一部カットして画面いっぱいに表示します。 **ご注意** スライドショーのスタイルによっては、設定したサイズで表示されないことがあります。

*:工場出荷時の設定

メモリーカードから内蔵メモリーに画像を取り込む

大切な画像を、内蔵メモリーに保存することによって、電子アルバムとして使用できます。

ちょっと一言

- 内蔵メモリーに保存する画像のサイズを最適化するか、圧縮せずに保存するかをあらかじめ[画像取り込みサイズ]で設定できます。(64ページ)
  [リサイズ]の場合、約 2,000 枚、保存できます。[原画サイズ]の場合、画像のサイズによって保存できる枚数が変わります。

1　メモリーカードの画像を表示した状態で、➡▣（画像取込み）ボタンを押す。

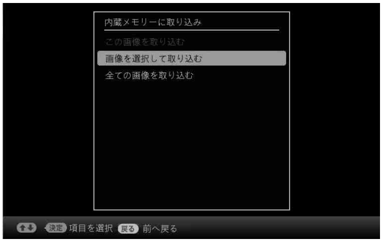
ちょっと一言

- 本体から操作する場合、メニューボタンを押し、←/→ ボタンで（画像操作）を選択してから、↓/↑ ボタンで[内蔵メモリーへ取り込み]を選択して、-✦- ボタンを押してください。

一枚表示の場合



スライドショーの場合



インデックス表示の場合



2　↓/↑ ボタンで、［この画像を取り込む］、［画像を選択して取り込む］、または、［全ての画像を取り込む］を選び、-✦- ボタンを押す。

［この画像を取り込む］を選ぶと、現在選択している画像を内蔵メモリーに取り込みます。手順 5 へ進んでください。
（スライドショー選択時は［この画像を取り込む］は選択できません。）
［画像を選択して取り込む］を選ぶと、画像一覧が表示され、取り込みたい画像を選択できます。手順 3 へ進んでください。
［全ての画像を取り込む］を選ぶと、全ての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順 4 へ進んでください。

次のページにつづく

3　画像一覧から、←/→/↓/↑ ボタンで取り込みたい画像を選び、-+- ボタンを押す。

選択された画像には「✔」がつきます。

複数の画像を同時に取り込みたい場合は、この操作を繰り返します。



選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し -+- ボタンを押すと「✔」が消えます。

画像一覧での絞り込みについて

絞り込み実行中：

絞り込みの条件に当てはまる画像を一覧表示します。

絞り込み解除時：

現在表示されている画像の入ったデバイスの画像を一覧表示します。

（絞り込みについては、48 ページをご覧ください。）

4　メニューボタンを押す。

フォルダー選択画面が表示されます。

5　↓/↑ ボタンで保存先のフォルダーを選び、-+- を押す。

画像取り込みの確認画面が表示されます。



ちょっと一言

- ［新規］を選ぶと、保存先のフォルダーが自動的に作成されます。

6　↓/↑ ボタンで、［はい］を選び、-+- ボタンを押す。

画像が内蔵メモリーの指定フォルダーに保存されます。

7　確認画面が表示されたら、-+- ボタンを押す。

ご注意

- 内蔵メモリーの画像は「内蔵メモリーに取り込み」ができません。
- 内蔵メモリーに取り込み中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。
  – 電源を切る。
  – メモリーカードを抜く。
  – 他のメモリーカードを挿入する。

ちょっと一言

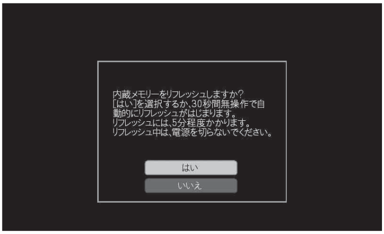
- 画像一覧で ⊕ 拡大/⊖ 縮小を使ってサムネイルの大きさを切り換えることができます。

リフレッシュモード

内蔵メモリーに取り込まれた画像は、デバイスの特性上、時間の経過や読み出し回数の多さが原因でエラーが発生し、画像が正しく表示されないことがあります。

本機は、こういったエラーを防ぐため、ご使用状況に応じて自動で内蔵メモリーのリフレッシュを行います。

リフレッシュが必要なタイミングになると、リフレッシュ画面が自動で表示されます。
[はい] を選択、または 30 秒間無操作で自動的に開始します。
[いいえ] を選択すると、再度必要なタイミングでリフレッシュ画面が表示されます。



内蔵メモリーのリフレッシュ中は、本機の電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。
リフレッシュには 5 分程度かかる場合があります。

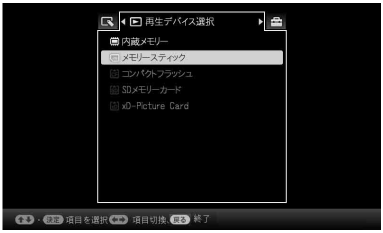
ご注意

- 内蔵メモリー内の画像データは、こまめにバックアップをとってください。
- 10 枚以下の画像数で、スライドショー切り換え間隔が 3 秒での継続したご使用はお控えください。内蔵メモリーの画像を保護できない場合があります。

再生デバイスを選択する

メモリーカードや内蔵メモリーなど、表示するデバイスを指定することができます。

1 再生デバイス選択ボタンを押す。



ちょっと一言

- 本体から操作する場合、メニューボタンを押し、←/→ ボタンで ▶（再生デバイス選択）タブを選んでください。
- 選択したいメモリーカードが挿入されていない場合は、ここで挿入してください。

ご注意

- 時計･カレンダー表示中は、▶（再生デバイス）タブを選択できません。

2 ↓/↑ ボタンで表示したい再生デバイスを選び、-✦-ボタンを押す。

選択した再生デバイス内の画像が表示されます。

内蔵メモリーからメモリーカードへ画像を書き出す

内蔵メモリーに取り込んだ画像を、メモリーカードに書き出せます。

1 **内蔵メモリーの画像を表示した状態でメニューボタンを押す。**

2 **←/→ ボタンで（画像操作）タブを選ぶ。**

3 **↓/↑ ボタンで［書き出し］を選び、-◆-ボタンを押す。**

一枚表示の場合



4 **↓/↑ ボタンで、［この画像を書き出す］、［画像を選択して書き出す］または、［すべての画像を書き出す］を選び、-◆-ボタンを押す。**

［この画像を書き出す］を選ぶと、現在選択している画像を書き出します。手順 7 へ進んでください。

（スライドショー選択時は［この画像を書き出す］は選択できません。）

［画像を選択して書き出す］を選ぶと、画像一覧が表示され、書き出したい画像を選択できます。手順 5 へ進んでください。

［全ての画像を書き出す］を選ぶと、全ての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順 6 へ進んでください。

5 **画像一覧から、←/→/↓/↑ ボタンで書き出したい画像を選び、-◆-ボタンを押す。**

選択された画像には「✔」がつきます。

複数の画像を同時に書き出したい場合は、この操作を繰り返します。

選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し-◆-ボタンを押すと「✔」が消えます。

画像一覧での絞り込みについて

絞り込み実行中：
絞り込みの条件に当てはまる画像を一覧表示します。

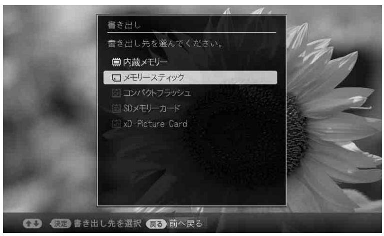
絞り込み解除時：
内蔵メモリー内の全画像を一覧表示します。

（絞り込みについては、48 ページをご覧ください。）

6 **メニューボタンを押す。**

書き出すメモリーカードを選択する画面が表示されます。

7 **↓/↑ ボタンで、画像を書き出すメモリーカードを選び、-◆-ボタンを押す。**



8 ↓/↑ ボタンで保存先のフォルダーを選び、-✦-ボタンを押す。

書き出しの確認画面が表示されます。



ちょっと一言

- [新規]を選ぶと、保存先のフォルダーが自動的に作成されます。

9 ↓/↑ ボタンで［はい］を選び、-✦-ボタンを押す。

画像が書き出されます。

10 確認画面が表示されたら-✦-ボタンを押す。

画像が指定したメモリーカードにコピーされます。

ご注意

- 画像の書き出し中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。
- – 電源を切る。
- – メモリーカードを抜く。
- – 他のメモリーカードを挿入する。

ちょっと一言

- 本体のメニューボタンからも操作できます。
- 画像一覧で拡大/縮小を使ってサムネイルの大きさを切り換えることができます。
- 本機に認識されないメモリーカードは灰色で表示され、選択できません。

画像を削除する

1 画像を表示した状態で🗑（削除）ボタンを押す。

ちょっと一言

- 本体から操作する場合、メニューボタンを押し、←/→ ボタンで（画像操作）を選択してから、↓/↑ ボタンで[削除]を選択し、-✦-ボタンを押してください。

2 ↓/↑ ボタンで、［この画像を削除］、［画像を選択して削除］、［全ての画像を削除］を選び、-✦-ボタンを押す。

［この画像を削除］を選ぶと、現在選択している画像を削除します。手順 5 へ進んでください。

（スライドショー選択時は［この画像を削除］は選択できません。）

［画像を選択して削除］を選ぶと、画像一覧が表示され、削除したい画像を選択できます。手順 3 へ進んでください。

［全ての画像を削除］を選ぶと、全ての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順 4 へ進んでください。

3 画像一覧から、←/→/↓/↑ ボタンで削除したい画像を選び、-✦-ボタンを押す。

選択された画像には「✔」がつきます。

複数の画像を同時に削除したい場合は、この操作を繰り返します。

選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し-✦-ボタンを押すと「✔」が消えます。

次のページにつづく

画像一覧での絞り込みについて

絞り込み実行中：
絞り込みの条件に当てはまる画像を一覧表示します。
絞り込み解除時：
現在表示されている画像の入ったデバイスの全画像を一覧表示します。
（絞り込みについては、48 ページをご覧ください。）

4 メニューボタンを押す。

削除の確認画面が表示されます。

5 ↓/↑ ボタンで、［はい］を選び、-•-ボタンを押す。

画像が削除されます。

6 削除が終わり、確認画面が表示されたら-•-ボタンを押す。

ご注意

- 画像を削除中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。
  – 電源を切る。
  – メモリーカードを抜く。
  – 他のメモリーカードを挿入する。
- ［プロテクトファイルは削除できません。］というメッセージが表示された場合、その画像はコンピューターで属性を「読み取り専用」に設定されています。本機では削除できないため、コンピューターに接続して、コンピューター上で削除してください。
- 内蔵メモリー初期化のすぐあとでも、内蔵メモリーの総容量と残容量は同じにはなりません。
- 削除を開始すると、途中で中止しても削除した画像を元に戻すことはできません。削除するときは、画像をよく確認してから削除を実行してください。

ちょっと一言

- 画像一覧で拡大/縮小を使ってサムネイルの大きさを切り換えることができます。

内蔵メモリーを初期化するには

1 メニューボタンを押す。

2 ←/→ ボタンで（設定）タブを選ぶ。

3 ↓/↑ ボタンで［工場出荷状態に戻す］を選び、-•-ボタンを押す。

4 ↓/↑ ボタンで［内蔵メモリーの初期化］を選び、-•-ボタンを押す。
初期化の確認画面が表示されます。

5 ↓/↑ ボタンで［はい］を選び、-•-ボタンを押す。

画像にマークを付ける

お好みの画像にマークを付けることによりマークを付けた画像のみを表示してスライドショーなどお楽しみいただけます。マークをインデックスや一枚表示（情報表示あり）から簡単に確認できます。

1 画像を表示した状態で♡（マーク操作）ボタンを押す。

ちょっと一言

- 本体から操作する場合、メニューボタンを押し、←/→ ボタンで（画像操作）を選択してから、↓/↑ ボタンで[マーク操作]を選択し、-✦-ボタンを押してください。

2 ↓/↑ ボタンでお好みのマークを選び、-✦-ボタンを押す。



3 ↓/↑ ボタンで、［この画像に付ける］、［画像を選択してマーク操作］または、［全ての画像に付ける］を選び、-✦-ボタンを押す。

［この画像に付ける］を選ぶと、現在選択している画像にマークを付けます。
（スライドショー選択時は［この画像に付ける］は選択できません。）
［画像を選択してマーク操作］を選ぶと、画像一覧が表示され、マークを付ける画像を選択できます。手順 4 へ進んでください。
［全ての画像に付ける］を選ぶと、全ての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順 5 へ進んでください。

4 画像一覧から、←/→/↓/↑ ボタンでマークを付ける画像を選び、-✦-ボタンを押す。

選択された画像には「✔」がつきます。
複数の画像に同時にマークを付ける場合は、この操作を繰り返します。
選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し、-✦-ボタンを押すと「✔」が消えます。

画像一覧での絞り込みについて

絞り込み実行中：
絞り込みの条件に当てはまる画像を一覧表示します。
絞り込み解除時：
現在表示されている画像の入ったデバイスの全画像を一覧表示します。
（絞り込みについては、48 ページをご覧ください。）

5 メニューボタンを押す。

確認画面が表示されます。

6 ↓/↑ ボタンで、［はい］を選び、-✦-ボタンを押す。

選択した画像にマークがつきます。

次のページにつづく

登録したマークをはずすには

手順３で［この画像から外す］または、［全ての画像から外す］を選び、-✦-ボタンを押します。また、「✔」を解除することで、マークをはずすことができます。

- この画像から外す：現在選択されている画像からマークを削除します。（スライドショー選択時は選べません。）
- 全ての画像から外す：
  現在表示されている画像の入ったデバイスの全画像からマークを削除します。
  絞り込み中の場合
  絞り込みの条件に当てはまる全画像からマークを削除します。

ご注意

- マークは内蔵メモリーの画像に設定した場合のみ保存されます。
  メモリーカードの画像に設定したマークは、電源を切ったり、再生デバイスの切り換えを行うと解除されます。

ちょっと一言

- ３種類からマークを選択できます。
- 画像一覧で拡大/縮小を使ってサムネイルの大きさを切り換えることができます。

画像を絞り込む

内蔵メモリーまたはメモリーカード内の画像を日付、フォルダー、縦写真／横写真、マークの条件から絞り込めます。

1　画像を表示した状態で絞り込みボタンを押す。

ちょっと一言

- 本体から操作する場合、メニューボタンを押し、←/→ ボタンで（画像操作）を選択してから、↓/↑ ボタンで［絞り込み］を選択し、-✦-ボタンを押してください。

2　↓/↑ ボタンで絞り込み条件を選び、-✦-ボタンを押す。



- 日付で絞り込む：
  撮影日から画像を絞り込みます。
- フォルダーで絞り込む：
  フォルダーから画像を絞り込みます。
- 縦写真／横写真で絞り込む：
  画像の向きから画像を絞り込みます。
- マークで絞り込む：
  マークの種類から画像を絞り込みます。

3 ←/→/↓/↑ ボタンで項目を選び、-+-ボタンを押す。

絞り込みを解除するには

絞り込んだ画像を表示中にメニューボタンを押し、［絞り込み解除］を選び、-+-ボタンを押します。

絞り込み条件を変更するには

絞り込んだ画像を表示中に戻るボタンを押します。

ご注意

- 絞り込み中に電源を切ったり、メモリーカードを抜かないでください。本機やメモリーカードを破損したり、データを破損する場合があります。
- 次の場合は、絞り込みが自動的に解除されます。
  – 再生デバイスを変更したとき
  – メモリーカードの画像を絞り込み、そのメモリーカードを抜いたとき
- 絞り込み実行中に再生デバイスを変更すると、自動的に絞り込みが解除されます。

画像サイズと向きを調整する

画像を拡大／縮小する

一枚表示中にお好みの画像を拡大／縮小できます。

1 拡大するにはリモコンの⊕（拡大）ボタンを、拡大したものを縮小するには⊖（縮小）ボタンを押す。

⊕ボタンを押すたびに、拡大率が増加します。最大 5 倍まで拡大できます。拡大した場合、上下左右に移動できます。

拡大／縮小後の画像を保存するには

① **画像を拡大／縮小した状態でメニューボタンを押す。**

② **↓/↑ ボタンで保存方法を選ぶ。**
［新規保存］を選ぶと元の画像とは別に保存されます。手順 ③ へ進んでください。
［上書き保存］を選ぶと元の画像に置き換えて保存されます。手順 ⑤ へ進んでください。

③ **↓/↑ ボタンで拡大／縮小した画像を保存するデバイスを選び、-+-ボタンを押す。**

④ **↓/↑ ボタンで保存先のフォルダーを選び、-+-ボタンを押す。**

⑤ **↓/↑ ボタンで［はい］を選び、-+-ボタンを押す。**
画像が保存されます。

⑥ **画像の保存が終わり、確認画面が表示されたら -+-ボタンを押す。**

ちょっと一言

- 手順①で、拡大した画面を←/→/↓/↑ボタンで動かした状態でメニューボタンを押すと、表示されている画面がトリミングされた状態で保存されます。

次のページにつづく

いろいろな機能を使う

ご注意

- 拡大した場合は、画像サイズによっては画質が低下することがあります。
- JPEGファイル（拡張子JPG）以外は、上書き保存ができません。

画像を回転する

一枚表示中にお好みの画像を回転させて表示できます。

1 **一枚画面表示中にメニューボタンを押す。**

2 **←/→ ボタンで（画像操作）タブを選ぶ。**

3 **↓/↑ ボタンで［回転］を選び、-◆-ボタンを押す。**



4 **↓/↑ ボタンで、回転方向を選び、-◆-ボタンを押す。**

- ：時計回りに 90 度回転します。
- ：反時計回りに90度回転します。

5 **↓/↑ ボタンで、［OK］を選び、-◆-ボタンを押す。**

ご注意

- 拡大した画像は回転できません。

ちょっと一言

- リモコンの（回転）ボタンを押しても、画像を回転させることができます。ボタンを押すたびに画像が反時計回りに 90 度回転します。
- 内蔵メモリーの場合、画像を回転させた情報は、電源を切ったあとも保持されます。
- インデックス表示の画像も回転できます。

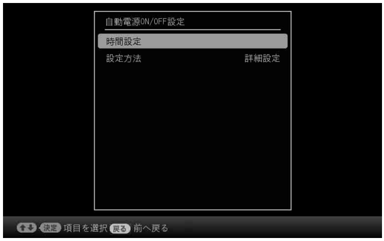
自動電源 ON/OFF の設定を変更する

電源が入っている場合、自動的に本体の電源を ON/OFF できるタイマー機能を設定できます。

1 **メニューボタンを押す。**

2 **←/→ ボタンで（設定）タブを選ぶ。**

3 **↓/↑ ボタンで設定を［自動電源 ON/OFF 設定］を選び、-◆-ボタンを押す。**

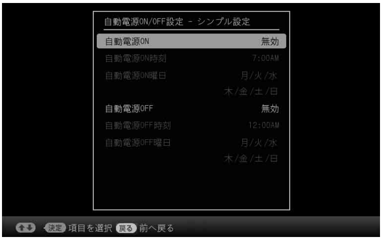


4 **↓/↑ ボタンで［設定方法］を選び、-◆-ボタンを押し、↓/↑ ボタンで［シンプル設定］か［詳細設定］を選び、-◆-ボタンを押す**

［シンプル設定］：
1 分単位で詳細な自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。
［詳細設定］：
曜日別に、1 時間単位で自由に自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。

5 ↓/↑ ボタンで［時間設定］を選び、-◆-ボタンを押す。

シンプル設定の場合



① 時間設定をしたい項目を選ぶ。

↓/↑ ボタンで［自動電源 ON］または［自動電源 OFF］を選び -◆- ボタンを押し、↓/↑ ボタンで［有効］を選び -◆- ボタンを押します。

② 自動電源 ON/OFF 機能を使用したい時刻を設定する。

↓/↑ ボタンで［自動電源 ON 時刻］または［自動電源 OFF 時刻］を選び、-◆- ボタンを押します。

←/→ ボタンで時、分を選び、↓/↑ ボタンで数値設定をし、-◆- ボタンを押します。

③ 自動電源 ON/OFF 機能を使用したい曜日を設定する。

↓/↑ ボタンで［自動電源 ON 曜日］または［自動電源 OFF 曜日］を選び、-◆- ボタンを押します。

↓/↑ ボタンで機能を使いたい曜日を選び、-◆- ボタンでチェックをつけます。

↓/↑ ボタンでカーソルを［確定］へ移動し、-◆- ボタンを押します。

詳細設定の場合



① ←/→/↓/↑ ボタンで自動電源 ON/OFF 機能を使用したい時間を選ぶ。

月曜日から日曜日まで 1 時間単位で選択します。

-◆- ボタンを押すと選択した時間帯が青色になります。青色の時間帯は本機の電源が ON となります。青色の時間帯を選んで -◆- ボタンを押すと、灰色になります。灰色の時間帯に本機の電源が OFF になります。

ちょっと一言

- 印刷中以外は、使用中でも自動電源 OFF の時間となると、電源は自動的に OFF となります。また、スタンバイ中に自動電源 ON の時間となると自動的に電源が ON になります。

② ←/→/↓/↑ ボタンで［確定］を選び、-◆- ボタンを押す。

6 メニューボタンを押す。

いろいろなプリントを楽しめます（応用編）

いろいろなプリントを楽しむ

プリント時の設定を変える

（日付プリント／プリント仕上げ／割付け印刷）

日付プリント



プリント仕上げ（フチあり印刷）



割付け印刷



1 メニューボタンを押す。

2 ←/→ ボタンで（設定）タブを選ぶ。

3 ↓/↑ ボタンで［プリント設定］を選び、◆ボタンを押す。

4 ↓/↑ ボタンで変更したい項目を選び、◆ボタンを押す。

5 ↓/↑ ボタンで設定を選び、◆ボタンを押す。

設定内容が確定されます。（65 ページ）

ちょっと一言

- 日付プリント、プリント仕上げ、割付け印刷は、一枚表示のプリント時（34 ページ）のみ有効です。
- ここでは、「日付プリント」「フチあり写真」「割付け印刷」のパターンのみ紹介しています。
- メモリーカードや内蔵メモリー内のお好みの画像を指定して分割画面でプリントすることもできます。（56 ページ）

クリエイティブプリントを作る

（カレンダー／分割写真／証明写真）

クリエイティブプリントとは？

メモリーカードや内蔵メモリー内の画像を編集し、カレンダー、分割写真、証明写真を作成することができます

1 メニューボタンを押す。

2 ←/→ ボタンで（画像操作）タブを選ぶ。

3 ↓/↑ ボタンで［クリエイティブプリント］を選び、◆ボタンを押す。

クリエイティブプリントメニューが表示されます。

ご注意

用紙サイズによって、選べるひな形の種類が異なります。あらかじめインクリボンとプリントペーパーをセットしたサイズでクリエイティブプリントのひな形を選択してください。作成後のインクリボンとプリントペーパーのサイズ変更は行なわないでください。

ちょっと一言

- クリエイティブプリント作業中もメニューボタンを押して他のメニューを選び、一部のメニューの設定ができます。

途中で操作をやり直すには

戻るボタンを押すと、ひとつ前の手順の画面が表示されます。操作手順によってはやり直せない場合もあります。

クリエイティブプリントを終了するには

以下の手順で、クリエイティブプリントを終了します。

①メニューボタンを押し、←/→ ボタンで（画像操作）タブを選ぶ。

②↓/↑ ボタンで［クリエイティブプリントの終了］を選び、◆ボタンを押す。

ちょっと一言

- プレビュー画面で、←/→/↓/↑ ボタンを押して✕を選び、◆ボタンを押してクリエイティブプリントを終了することもできます。このとき、画像保存の確認画面が表示される場合があります。

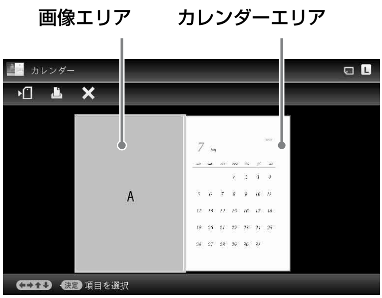
カレンダーを作る

1 クリエイティブプリントメニューから ←/→/↓/↑ ボタンで、（カレンダー）を選び、◆ボタンを押す。

カレンダーのひな形を選ぶ画面が表示されます。

2 ←/→/↓/↑ ボタンでひな形を選び、◆ボタンを押す。

選択したひな形のプレビュー画面が表示されます。



ちょっと一言

- 画像、カレンダーのどちらのエリアを先に選択してもかまいません。

3 画像を選択する。

複数の画像が入るひな形を選んだときは、それぞれの画像エリアについて画像を選びます。

次のページにつづく

① カレンダーのひな形のプレビュー画面から ←/→/↓/↑ ボタンで画像エリアを選び、-✦- ボタンを押す。
画像選択画面が表示されます。

② ←/→/↓/↑ で画像を選び、-✦- ボタンを押す。
画像編集画面が表示されます。

4 画像を編集する。

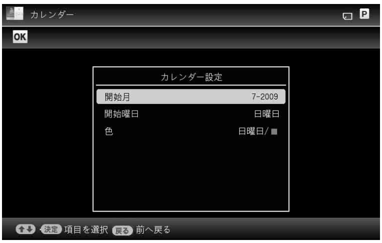
画像の編集については 58 ページをご覧ください。

5 画質を調整する。

画質の調整については 59 ページをご覧ください。

6 カレンダーを設定する。

① カレンダーのひな型のプレビュー画面から ←/→/↓/↑ ボタンでカレンダーエリアを選び、-✦- ボタンを押す。
カレンダー設定画面が表示されます。



② ↓/↑ ボタンで変更したい項目を選び、-✦- ボタンを押す。

項目	設定内容
開始月	カレンダーを開始する年と月を設定します。←/→ ボタンで年を選び、↓/↑ ボタンで数値を変更し、-✦- ボタンを押します。同様に月も設定します。
開始曜日	カレンダーの左端にくる曜日を設定します。↓/↑ ボタンで[日曜日]または[月曜日]を選び -✦- ボタンを押します。
色	休日の表示色を設定します。↓/↑ ボタンで日曜日･祝日･土曜日の文字色を選び -✦- ボタンを押します。

画像のプレビュー画面のカレンダーエリアにカレンダーが表示されます。

7 ↓/↑ ボタンで OK を選択し、-✦- ボタンを押す。

画像のプレビュー画面が表示されます。

8 印刷ボタンを押す。

画面の指示に従って操作してください。

ちょっと一言

- 作成したカレンダー画像の保存もできます。59 ページをご覧ください。

分割写真を作る

以下のような分割写真が作れます。

- L サイズ：1 分割、2 分割、4 分割、9 分割
- P サイズ：1 分割、2 分割、4 分割、9 分割、13 分割、16 分割

1 クリエイティブプリントメニューから ←/→/↓/↑ ボタンで、（分割写真）を選び、-✦- ボタンを押す。

分割写真のひな形を選ぶ画面が表示されます。



2 **←/→/↓/↑ ボタンでひな形を選び、-◆-ボタンを押す。**

選択したひな形のプレビュー画面が表示されます。

3 **画像を選択する。**

複数の画像が入るひな形を選んだときは、それぞれの画像エリアについて画像を選びます。選択方法は、55 ページの手順 3 をご覧ください。画像を選択すると調整画面が表示されます。

4 **画像を編集する。**

画像の編集については 58 ページをご覧ください。

5 **画質を調整する。**

画質の調整については 59 ページをご覧ください。

6 **印刷ボタンを押す。**

画面の指示に従って操作してください。

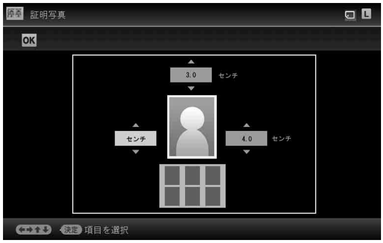
ちょっと一言

- 作成した分割写真の保存もできます。59 ページをご覧ください。

証明写真を作る

1 **クリエイティブプリントメニューから ←/→/↓/↑ ボタンで、（証明写真）を選び、-◆-ボタンを押す。**

証明写真の高さ、幅を指定する画面が表示されます。



ちょっと一言

P サイズのとき最大で 7 × 9cm、L サイズのとき最大で 6 × 8 cm まで指定できます。

2 **←/→/↓/↑ ボタンで、調整したい項目を選び、-◆-ボタンを押す。**

カーソルが数字側に移動します。

- 単位を指定するには：
  写真枠左のボックスを選びます。
- 縦の長さを指定するには：
  写真枠右の数字ボックスを選びます。
- 横の長さを指定するには：
  写真枠上の数字ボックスを選びます。

3 **↓/↑ ボタンでサイズまたは単位を設定し、-◆-ボタンを押す。**

設定したサイズのレイアウトイメージが表示されます。

4 **他の項目も設定したい場合は、手順 2 と 3 を繰り返す。**

5 **←/→/↓/↑ ボタンで OK を選び、-◆-ボタンを押す。**

画像選択画面が表示されます。

6 **画像を選択する。**

画面の指示に従って操作してください。

次のページにつづく

選択方法は、55 ページの手順 3 をご覧ください。画像を選択すると調整画面が表示されます。

7 **画像を編集する。**

画像の編集については 58 ページをご覧ください。

8 **画質を調整する。**

画質の調整については 59 ページをご覧ください。

9 **印刷ボタンを押す。**

画面の指示に従って操作してください。

ちょっと一言

- 作成した証明写真の保存もできます。59 ページをご覧ください。

ご注意

- 本機でプリントした写真が証明写真としてご利用できない場合があります。事前に提出先に必要条件をご確認ください。

画像を編集する

画像編集画面から、画像を編集することができます。

カレンダーの画像編集画面



1 **←/→ ボタンで画像編集したい項目を選び、-✦- ボタンを押す。**

項目	編集内容
	画像を縮小、拡大します。
	←/→/↓/↑ ボタンを押して移動し、-✦- ボタンで位置を確定します。
	時計方向に 90 度回転します。
	画質の調整ができます。詳しくは 59 ページをご覧ください。
	画像をモノクロにします。

2 **←/→ ボタンで［OK］を選び、-✦- ボタンを押す。**

画像のプレビュー画面が表示されます。

画質を調整する

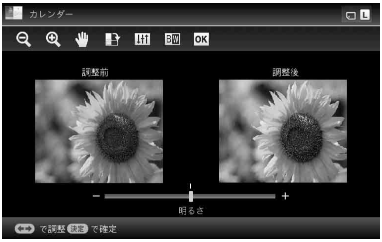
1　画像編集画面で、←/→ ボタンを押して を選び ◆ ボタンを押す。

画質調整メニューが表示されます。

2　↓/↑ ボタンで調整したい項目を選び、◆ ボタンを押す。

それぞれの項目の調整画面が表示されます。

［明るさ］を選んだ場合



←/→ ボタンでレベルを確認しながら調整します。調整前の画像が画面の左半分、調整後の画像が画面の右半分に表示されます。

項目	調整方法
明るさ	画像を全体的に明るくするには → を、暗くするには ← を押します。
色あい	緑っぽい色あいにするには → を、赤っぽい色あいにするには ← を押します。
色の濃さ	全体的に色を濃くするには → を、薄くするには ← を押します。
シャープネス	画像の輪郭を鮮明にするには → を、ぼかすには ← を押します。

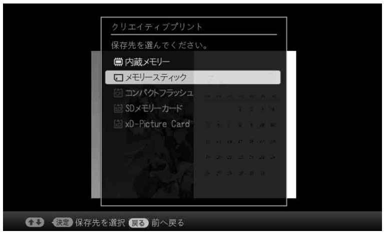
3　◆ ボタンを押す。

画質調整されます。

画像を保存する

1　画像のプレビュー画面で、←/→ ボタンを押して を選び、◆ ボタンを押す。

カレンダーの画像のプレビュー画面



画像の保存先の選択画面が表示されます。

2　↓/↑ ボタンで、画像を書き出すデバイスを選び、◆ ボタンを押す。



3　↓/↑ ボタンで、保存先のフォルダーを選び、◆ ボタンを押す。

ちょっと一言

- ［新規］を選ぶと、保存先のフォルダーが自動的に作成されます。

次のページにつづく

4 確認画面が表示されたら ボタンを押す。

ちょっと一言

- 元の画像は上書きされません。

ご注意

- 画像の保存中は、電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。本機やメモリーカードを破損したり、データを破損する場合があります。

まとめてプリント

（インデックス／ DPOF ／全画像）

- **インデックスプリント**
  メモリーカードや内蔵メモリー内の全画像を分割画面でプリントできます。画像を確認するときに便利なプリントです。分割画面数は自動的に計算され、プリントされます。



- **DPOF プリント**
  一枚表示画面で、プリントマーク（）の付いた画像（デジタルカメラなどでDPOF（Digital Print Order Format）でプリント予約された画像）を、表示順に予約された枚数、まとめてプリントできます。
- **全画像プリント**
  メモリーカードや内蔵メモリー内の全画像をプリントすることができます。

ご注意

- 絞り込み中は、絞り込み結果の画像のみ表示されます。
- デジタルカメラなどでのプリント予約方法については、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- デジタルカメラなどにはプリント予約に対応していない機種もあります。また、機種によっては本機では対応できない場合もあります。

1 メニューボタンを押す。

2 **←/→ ボタンで（画像操作）タブを選ぶ。**

3 **↓/↑ ボタンで［まとめてプリント］を選び、-✦-ボタンを押す。**

まとめてプリントメニューが表示されます。

4 **↓/↑ ボタンで、［インデックスプリント］、［DPOF プリント］または［全画像プリント］のいずれかを選び、-✦-ボタンを押す。**

確認画面が表示されます。

ご注意

- ［DPOF プリント］を選んだ場合、DPOFでプリント予約された画像がない場合は、エラーメッセージが表示され選べません。

5 **プリントしたい場合は ←/→ ボタンで［はい］を選び、プリントを中止したい場合は［いいえ］を選び、-✦-ボタンを押す。**

［はい］を選んだときは、印刷が始まります。

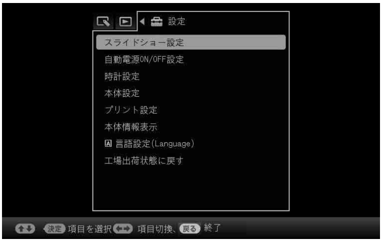
設定を変更する

下記の設定を行うことができます。
- スライドショー設定
- 自動電源ON/OFF設定
- 時計設定
- 本体設定（画像表示順、Sony ロゴ点灯など）
- プリント設定
- 言語設定
- 工場出荷状態に戻す

設定手順

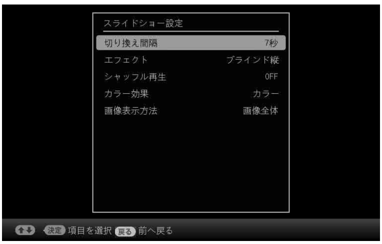
1 メニューボタンを押す。

2 ←/→ ボタンで （設定）タブを選ぶ。



ご注意
- 時計･カレンダー表示中は、（設定）タブのみ操作できます。

3 ↓/↑ ボタンで設定を変更したい項目を選び、-◆-ボタンを押す。



（［スライドショー設定］を選んだ場合）

4 ↓/↑ ボタンで変更したい項目を選び、-◆-ボタンを押す。

それぞれの項目が設定できるようになります。（63 ページ）

ご注意
- スライドショー表示中など本体の状態によっては、設定できない項目があります。設定できない項目はグレーで表示され、選択できません。

5 ↓/↑ ボタンで設定値を選び、-◆-ボタンを押す。

↓/↑ ボタンを押すたびに、設定値が切り換わります。数値の場合は、↑ ボタンで増え、↓ ボタンで減ります。
-◆-ボタンを押すと、設定内容が確定されます。

6 メニューボタンを押す。

メニューが終了します。

設定を工場出荷時に戻すには

1 メニューボタンを押して、←/→ ボタンで （設定）タブを選ぶ。

2 ↓/↑ ボタンで［工場出荷状態に戻す］を選び、-◆-ボタンを押す。

3 ↓/↑ ボタンで［設定の初期化］を選び、-◆-ボタンを押す。

時計設定の日付と時刻以外の設定値を工場出荷時の設定に戻します。

ちょっと一言
- 本体のメニューボタンからも操作できます。

設定項目

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>スライドショー設定</td><td colspan="4">「スライドショーの設定を変更する」(39 ページ)をご覧ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">自動電源ON/OFF設定</td><td colspan="4">自動的に本体の電源を ON/OFF できるタイマー機能を設定します。以下から設定できます。(50 ページ)</td></tr>
<tr><td rowspan="5">時間設定</td><td rowspan="2">シンプル設定</td><td>自動電源ON</td><td>有効にすると、自動的に電源を入れる時刻と曜日を設定できます。</td></tr>
<tr><td>自動電源OFF</td><td>有効にすると、自動的に電源を切る時刻と曜日を設定できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">詳細設定</td><td>確定</td><td>自動的に電源を入れたり、切ったりする時刻や曜日を設定した後に押すと、操作を確定し、前画面に戻ります。</td></tr>
<tr><td>キャンセル</td><td>自動的に電源を入れたり、切ったりする時刻や曜日を設定した後に押すと、操作を中止し、前画面に戻ります。</td></tr>
<tr><td>全て解除</td><td>自動的に電源を入れたり、切ったりする時刻や曜日を設定した後に押すと、選択した時間を全て削除します。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">設定方法</td><td>詳細設定 *</td><td>曜日別に、1 時間単位で自由に自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。</td></tr>
<tr><td>シンプル設定</td><td>1 分単位で詳細な自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。</td></tr>
<tr><td>時計設定</td><td colspan="4">日付や時刻、カレンダー表示の開始曜日などを設定します。(22 ページ)</td></tr>
<tr><td rowspan="5">本体設定</td><td colspan="2" rowspan="3">画像表示順</td><td colspan="2">画像を表示する順番を設定します。設定した項目がスライドショー設定の再生順に反映されます。</td></tr>
<tr><td>画像番号順*</td><td>画像番号順に画像を表示します。</td></tr>
<tr><td>撮影日時順</td><td>撮影日時順に画像を表示します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動縦横判別</td><td colspan="2">本体の向きに合わせ表示を切り換える機能を ON * /OFF に設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">バックライトの明るさ</td><td colspan="2">液晶画面のバックライトの明るさを 1 ～ 10 *のレベルで設定します。</td></tr>
</table>

＊: 工場出荷時の設定

次のページにつづく

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">本体
設定</td><td rowspan="2">画像取り込みサイズ</td><td>リサイズ*</td><td>メモリーカードから画像を取り込む際に、画像をリサイズして内蔵メモリーに保存します。より多くの画像を保存できます。ただし、コンピューターなどを使用して大型モニターに表示した場合、元の画像よりも、画質が劣化します。</td></tr>
<tr><td>原画
サイズ</td><td>画像を圧縮せずにそのまま内蔵メモリーに保存します。画質の劣化はありませんが、保存できる画像の枚数が少なくなります。</td></tr>
<tr><td>Sony ロゴ点灯</td><td colspan="2">本機の Sony ロゴの点灯を ON＊/OFF で設定します。</td></tr>
<tr><td>言語
設定</td><td colspan="3">液晶画面に表示される言語を設定します。
日本語*／英語／フランス語／スペイン語／ドイツ語／イタリア語／ロシア語／韓国語／中国語（簡体字）／中国語（繁体字）／オランダ語／ポルトガル語／アラビア語／ペルシア語／ハンガリー語／ポーランド語／チェコ語／タイ語／ギリシャ語／トルコ語／マレーシア語／スウェーデン語／ノルウェー語／デンマーク語／フィンランド語
ご注意
工場出荷時の言語設定は、お買い上げの地域により異なることがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">工場出荷状態に戻す</td><td>内蔵メモリーの初期化</td><td colspan="2">内蔵メモリーを初期化します。
ご注意
• 初期化を実行すると、内蔵メモリーに取り込まれた画像ファイルはすべて消去されますので、ご注意ください。
• コンピューターなど他の機器を使って初期化しないでください。</td></tr>
<tr><td>設定の
初期化</td><td colspan="2">全ての設定値を工場出荷時の設定に戻します。
ただし、時計設定の日付と時刻の設定は保持されます。</td></tr>
</table>

＊：工場出荷時の設定

項目	設定	内容	
プリント設定	日付プリント	日付 日付／時間	画像が DCF(Design rule for Camera File system)にそって撮影された場合、撮影情報として記録されている撮影日時を入れて、プリントします。撮影日時、または日付のみのいずれかを選べます。
		OFF*	画像に日付を入れずにプリントします。
	プリント仕上げ	フチあり 1 ／フチあり 2	画像の周りに余白を残してプリントします。画像がカットされることなくプリントしたいときは、[フチあり 1]を選びます。上下左右に均一の余白を作りたいときは、[フチあり 2]を選びます。 **ご注意** • [フチあり 2] を選んだ場合、画像によっては上下または左右がカットされてプリントされることがあります。
		フチなし *	画像の周りに余白を残さずプリントします。 **ご注意** • デジタルカメラなどで撮影した一般的な 4:3 の画像をプリントすると、上下がカットされ、3:2 の画像でプリントされます。
	オートファインプリント 7	ON*	より鮮明で美しい画質でプリントするために、自動的に画像を補正してプリントする機能です。全体的に暗い画像やコントラストのない画像をプリントする場合に特に有効です。 ただし、以下の印刷時には適用されません。 • 割付け印刷（54 ページ） • インデックスプリント（60 ページ） • シングル表示以外のスライドショープリント（35 ページ） • クリエイティブプリント（55 ページ） **ご注意** • 元画像データ自体は補正されません。 • コンピューターモードでプリントする場合は、プリンタードライバーでのオートファインプリント 7 の設定が優先されます。
		OFF	画像を補正せずにそのままプリントします。
	割付け印刷	4 画面／9 画面／16 画面	プリントペーパーに選択した画面数を割付けてプリントします。
		OFF*	割付け印刷は無効になり一画面でプリントします。

*：工場出荷時の設定

次のページにつづく

項目	設定	内容
プリント設定	プリント画質	プリントの色あい、シャープネスを調整します。←/→ ボタンで[R]（赤）、[G]（緑）、[B]（青）それぞれの色要素、[S]（シャープネス）を選び、↓/↑ ボタンで数値を大きくまたは小さく設定します。[RGB] は＋4 ～ー4、[S] は＋ 7 ～ 0 の間で調整できます。 R：赤と水色の成分を調整します。値を大きくすると、赤い光を軽くあてたように赤味が増します。値を小さくすると、暗くなり赤味が落ちます。また同時に水色を加えたようになります。 G：緑と赤紫の成分を調整します。値を大きくすると、緑の光を軽くあてたように緑味が増します。値を小さくすると、暗くなり緑味が落ちます。また同時に赤紫色を加えたようになります。 B：青と黄色の成分を調整します。値を大きくすると、青い光を軽くあてたように青味が増します。値を小さくすると、暗くなり青味が落ちます。また同時に黄色を加えたようになります。 S：画像の輪郭を調整します。値を大きくすると輪郭が鮮明になります。 （*R:0/G:0/B:0/S:0）

＊：工場出荷時の設定

コンピューターとの接続でもっと便利に使えます

コンピューターとつないで使う

コンピューターとつないでできること

本機とコンピューターを接続することにより、以下の 2 つの機能を使うことができます。
使用方法の選択については、71 ページをご覧ください。

本機の内蔵メモリーを使う（[内蔵メモリーを使う]）

本機の内蔵メモリーをコンピューター上で参照することができます。コンピューター内の画像を内蔵メモリーにコピーして、本機で閲覧することもできます。

コンピューターからプリントする（[プリントする]）

コンピューター内の画像を本機から印刷することができます。最初に印刷する前には、付属のソフトウェアのインストールが必要です。

必要なシステム構成

内蔵メモリーとして使う場合

本機を内蔵メモリーとしてお使いになるには、以下の推奨動作環境を満たしたコンピューターが必要です。

■ Windows

推奨 OS:	Microsoft Windows Vista SP2/ Windows XP SP3
ポート	USB ポート

■ Macintosh

推奨 OS:	Mac OS X（10.4 以降）
ポート	USB ポート

ご注意

- 1 台のコンピューターに複数の USB 接続をしたり、またはハブを使用した場合は、不具合が発生することがあります。その場合は、接続を簡素化してください。
- 同時に接続された他の USB 機器から本機を操作することはできません。
- データ通信中は USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- 推奨環境を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。
- USB 接続については、コンピューターとの接続で動作確認を行っています。その他の機器に接続した場合、内蔵メモリーを参照できない場合があります。

プリントする場合

付属のプリンタードライバーとソフトウェア PMB（Picture Motion Browser）をお使いになるには、以下の推奨動作環境を満たしたコンピューターが必要です。

推奨 OS[*1*2]	Microsoft Windows Vista SP2 / Windows XP SP3 [*1] プリンタードライバーは、Windows 2000 は保証しません。また、Windows ME 以前の Windows OS、および Macintosh では動作しません。 [*2] PMB は、Windows XP 64bit 版、Windows 2000 以前の Windows OS、Macintosh では動作しません。また、Windows Vista 64bit 版では 32bit 互換モードで対応します。
CPU:	Pentium III 500MHz 以上（Pentium III 800MHz 以上推奨）
RAM:	256MB 以上（512MB 以上推奨）

ハードディスクの空き容量：	500MB 以上（ご使用状況によっては、それ以上必要な場合があります。）
ディスプレイの設定について：	画面の解像度：1024 × 768 ドット以上 画面の色：High Color（16 ビット）以上
接続端子：	USB 接続端子
ドライブ：	CD-ROM ドライブ（インストール時に必要）

ご注意

- 1台のコンピューターに複数のUSB接続（他のプリンターを含めて）をした場合、またはハブを使用している場合は、不具合が発生することがあります。その場合は、接続を簡素化してください。
- 同時に使用するUSB機器から本機を操作することはできません。
- データ通信中やプリント中はUSBケーブルを抜き差ししないでください。プリントが正常にできません。
- 本機はコンピューターのスタンバイ、スリープ、再起動および休止状態には対応していません。印刷中にコンピューターをスタンバイモード、スリープモード、再起動および休止状態に切り換えないでください。印刷に失敗することがあります。
- 印刷が正常にできなくなった場合は、USBケーブルを一度抜いて差し直すか、もしくはコンピューターを再起動してから、もう一度印刷を実行してください。
- 推奨環境対応のすべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。
- PMB は、DirectX テクノロジーに対応しているため、DirectX のインストールが必要になる場合があります。DirectX は CD-ROM 内にあります。
- Cyber-shot Viewer がインストールされているコンピューターに PMB をインストールすると、Cyber-shot Viewer は上書きされて PMB となります。このとき、Cyber-shot Viewer で登録された閲覧フォルダはそのまま PMB にも登録されます。

コンピューターに接続する前に

お使いになる接続方法によっては、事前の準備が必要になります。

本機の内蔵メモリーを使う

接続前の準備は必要ありません。

プリントする（初めてプリントする場合）

初めてコンピューターに接続してプリントする場合は、付属のプリンタードライバーのインストールが必要です。
インストールの方法については、74 ページをご覧ください。

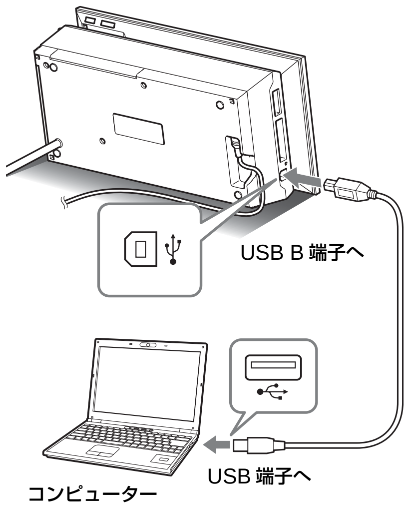
プリントする（2 回目以降）

接続前の準備は必要ありません。

コンピューターに接続する

1 AC アダプターを本機につなぎ、AC アダプターをコンセントに差込む。（20 ページ）

2 コンピューターと本機を USB ケーブルで接続する。



ご注意

- USB ケーブルは、長さ 3m 未満の B-TYPE（プリンター側コネクタタイプ）をお使いください。

3 本機の電源を入れる。（21 ページ）

本機の使用方法を選択する

1 コンピューターの電源を入れる。

本機の液晶画面に使用方法選択画面が表示されます。



ちょっと一言

- 既にコンピューターの電源が入っている場合は、本機と接続したときに使用方法選択画面が表示されます。

2 ←/→ ボタンで［内蔵メモリーを使う］または［プリントする］を選び、決定ボタンを押す。

各機能の使い方は、次のページをご覧ください。

- [内蔵メモリーを使う] → 72 ページ
- [プリントする] → 74 ページ

初めて [プリントする] を選ぶ場合は、決定ボタンを押す前に付属のプリンタードライバーのインストールを行ってください。（74 ページ）

ちょっと一言

- 本機とコンピューターの接続をいったん切断してから再度接続すると、使用方法選択画面が表示され、使用方法を切り換えることができます。

ご注意

- ここでは、Windows Vista での画面を使って説明します。OS の種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。

コンピューターと画像をやりとりする

本機とコンピューターをつなぎ、コンピューターから本機の内蔵メモリーの画像を閲覧、コピーしたり、コンピューターの画像を本機にコピーすることができます。

ご注意

- コンピューターから本機に画像をコピーする場合、画像はリサイズされず、元のサイズで保存されます。
  リサイズされた画像を保存したい場合は、メモリーカードから画像取り込みを行ってください。

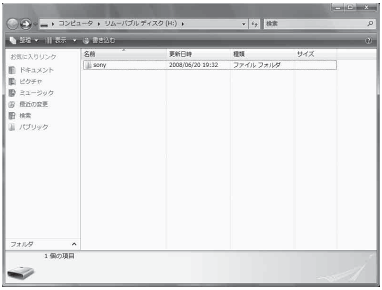
1 **本機の使用方法選択画面で、←/→ボタンを押して［内蔵メモリーを使う］を選び、✣ボタンを押す。**

2 **コンピューターの画面に［自動再生］画面が表示されたら、［フォルダーを開いてファイルを表示］をクリックする。**

［自動再生］画面が表示されない場合は、「コンピュータ（マイコンピュータ）」からリムーバブルディスクを選び、開いてください。

3 **カーソルをウィンドウの中に移動して右クリックし、［新規作成］－［フォルダ］をクリックする。**

作成したフォルダに名前をつけます。ここでは仮に「sony」としています。



4 **作成した「sony」フォルダーを開く。**

5 **コピーしたい画像ファイルが保存されているフォルダーを開き、ドラッグ・アンド・ドロップで「sony」フォルダーにファイルをコピーする。**

ご注意

- コンピューターから画像を保存するときは、コンピューター上で内蔵メモリーにフォルダーを作って、そのフォルダーに保存してください。フォルダーを作成せずに保存できる画像ファイル数は、最大 512 枚までです。さらに、ファイル名の長さや文字の種類によって、保存できる枚数が減少する場合があります。
- コンピューター上で画像ファイルを編集または保存すると、撮影日時の情報が変更されたり失われる場合があり、インデックス表示などが撮影日時の順番で表示されないことがあります。
- コンピューター上で作製、加工した画像ファイルは、本機では表示できない場合があります。また、コンピューター上で「読み取り専用」属性に設定されている画像ファイルは、本機では削除できません。保存する前に属性を変更してください。

コンピューターとの接続を切断する

以下の手順でコンピューターとの接続を切断してから USB ケーブルを抜いたり、本機の電源を切ってください。

1 **コンピューターのタスクトレイの（切断）をダブルクリックする。**

2 **（USB 大容量記憶装置デバイス）→［停止］をクリックする。**

3 **取りはずすドライブを確認して、［OK］をクリックする。**

ちょっと一言

- ［プリントする］でお使いの場合は、この手順は必要ありません。

コンピューターの画像をプリントするには

ご注意

- 付属のソフトウェアのインストールは、本機を初めてコンピューターに接続するときのみ必要です。

付属の CD-ROM のソフトウエアをコンピューター（Windows PC）にインストールして、本機とコンピューターを接続すると、コンピューター内の画像をプリントできます。ここでは、付属のプリンタードライバーとソフトウェア PMB（Picture Motion Browser）のインストール方法、コンピューターと本機との接続方法、PMB を使ったプリント方法について説明します。コンピューターの使いかたについては、コンピューターに付属の取扱説明書をご覧ください。

付属の CD-ROM について

付属の CD-ROM には、以下のソフトウェアのインストーラーが入っています。

- DPP-F700 プリンタードライバー
  DPP-F700 について記述したドライバーソフトウェアで、DPP-F700 を使ってコンピューターからプリントできるようになります。
- PMB（Picture Motion Browser）（ピクチャーモーション・ブラウザー）
  写真や動画の取り込みから、管理・加工・出力までを一括して行えるソニーオリジナルソフトウェアです。

ソフトウェアをインストールする

プリンタードライバーをインストールする

次の手順でインストールします。

ご注意

- インストール前に、本機をコンピューターに接続しないでください。
- コンピューターの管理者権限でログオンしてください。
- セットアップを始める前に他のプログラムはすべて終了させてください。

1 コンピューターの電源を入れ、Windows を起動し、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。

インストール画面が表示されます。



ご注意

- インストール画面が表示されないときは、CD-ROM 内の Setup(.exe) をダブルクリックします。
- Windows Vista では、自動再生画面が表示される場合がありますが、[Setup.exe の実行] を選択し、画面の指示に従ってインストールしてください。

2 ［プリンタードライバーのインストール］をクリックする。

InstallShield Wizard ダイアログボックスが表示されます。

3 ［次へ］をクリックする。

「使用許諾契約」画面が表示されます。

4 内容を良くお読みになり、同意する場合は［使用許諾契約の全条項に同意します］にチェックし、［次へ］をクリックする。

ちょっと一言

- 以前のバージョンのプリンタードライバーがインストールしてある場合、「以前のバージョンのプリンタードライバーが見つかりました。」というメッセージが表示されることがあります。［はい］をクリックし、画面の指示に従ってコンピューターの再起動を行い再びドライバーのインストールを行ってください。このとき、コンピューターにインストールされていた以前のバージョンのドライバーは削除されますが、新しいバージョンをインストールすると再びプリンタードライバーをご利用いただけます。

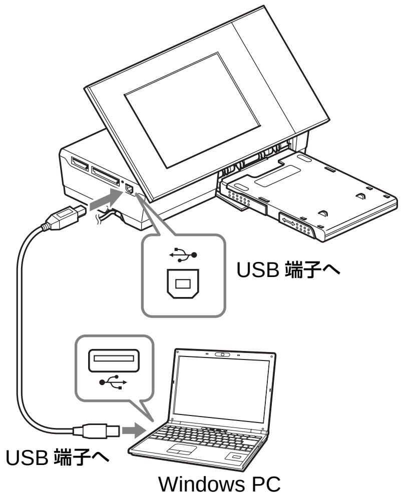
5 ［インストール］をクリックする。

インストールが始まります。

6 「Sony DPP-F700 のインストールが完了しました」が表示されたら、［完了］をクリックする。

7 本機の ⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。

8 コンピューターと本機を USB ケーブルで接続する。



ご注意

- USBケーブルは、長さ3m未満のB-TYPE（プリンター側コネクタタイプ）をお使いください。

9 本機の使用方法選択画面で ◀/▶ ボタンを押して［プリントする］を選び、-◆- ボタンを押す。

10 完了後しばらくしてから、「プリンタ」または「プリンタと FAX」に「Sony DPP-F700」が追加されていることを確認する。



11 インストール終了後、CD-ROMをコンピューターから取り出し保管する。

引き続きPMBをインストールする場合は、77ページ手順2以降にしたがって操作してください。

ご注意

- インストールがうまくいかない場合は、本機をコンピューターからはずして、コンピューターを再起動し、手順1からやり直してください。
- インストール後、「Sony DPP-F700」は通常使うプリンターには設定されていません。お使いになるアプリケーションソフトでそれぞれ設定を行ってください。
- 付属のCD-ROMは、再インストールやアンインストールで使用することがありますので、終了したら、CD-ROMドライブから取り出し、大切に保管してください。
- 本機をお使いになる前に、Readmeファイル（CD-ROM内のReadmeフォルダ ➔ Japaneseフォルダ ➔ Readme.txt）を良くお読みください。

インストールが終わると

デスクトップに以下のアイコンが表示されます。



プリンター_フレームカスタマー登録WEBサイトへのショートカット

カスタマー登録していただくと安心・便利な各種サポートが受けられます。

http://www.sony.co.jp/dpp-regi/



Sonyマイページへのショートカット

お持ちの登録製品に合わせたサポート情報をご覧いただけます。

http://www.sony.jp/pr/mypage/d-imaging/index.html

プリンタードライバーをアンインストールする

プリンタードライバーが不要になった場合は、次の手順でアンインストールを行い、ハードディスクから関連するファイルを削除します。

① 本機とコンピューターの接続を切断してから、本機とコンピューターからUSBケーブルをはずす。

② 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
インストール画面が表示されます。

ご注意

インストール画面が表示されないときは、CD-ROM内のSetup(.exe)をダブルクリックします。

③［プリンタードライバーのインストール］をクリックする。
InstallShield Wizardダイアログボックスが表示されます。

④［次へ］をクリックする。
「使用許諾契約」画面が表示されます。

⑤ 内容を良くお読みになり、同意する場合は［使用許諾契約の全条項に同意します］にチェックし、［次へ］をクリックする。
削除確認のダイアログボックスが表示されます。

⑥［はい］をクリックする。
再起動確認のダイアログボックスが表示されます。

⑦［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］をチェックして、［OK］をクリックする。
再起動後、関連のファイルが削除され、アンインストール完了です。

PMB(Picture Motion Browser)をインストールする

次の手順でインストールします。

ご注意

- コンピューターの管理者権限でログオンしてください。
- セットアップを始める前に他のプログラムはすべて終了させてください。

お使いのコンピューターに、すでに「PMB」がインストールされている場合は、インストール済みの「PMB」のバージョンを調べてください（「PMB」のメニューで、［ヘルプ］→［バージョン情報］の順にクリックすると表示されます）。
付属の CD-ROM に記載されている「PMB」のバージョンと比較して、バージョンの高い方を後からインストールしてください。お使いのコンピューターにインストールされている「PMB」のバージョンの方が高い場合は、一度アンインストールした後、バージョンの低い方から順にインストールしてください。バージョンの高い方からインストールした場合、「PMB」の一部の機能が正常に動作しない場合があります。

1 コンピューターの電源を入れ、Windows を起動し、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。

インストール画面が表示されます。

2 ［PMB（Picture Motion Browser）のインストール］をクリックする。

「使用許諾契約」ダイアログが表示されます。

3 内容を良くお読みになり、同意する場合は［使用許諾契約の全条項に同意します。］にチェックし、［次へ］をクリックする。

「使用許諾契約」ダイアログボックスで［次へ］をクリックすると、インストール準備完了ダイアログボックスが表示されます。

4 ［インストール］をクリックし、画面の指示に従ってインストールする。

コンピューターの再起動を要求する画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動を行なってください。

5 インストール後、付属の CD-ROM をコンピューターから取り出し保管する。

ご注意

- インストールがうまくいかない場合は、手順 2 からやり直してください。
- 付属の CD-ROM は、再インストールやアンインストールで使用することがありますので、終了したら、CD-ROM ドライブから取り出し、大切に保管してください。

PMB をアンインストールする

PMB が不要になった場合は、次の手順でアンインストールを行い、ハードディスクから関連するファイルを削除します。

① Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選ぶ。
コントロールパネルが表示されます。

② ［プログラムのアンインストール］を開く。
コンピューター環境によっては［プログラムと機能］、［プログラムの追加と削除］という名称の場合があります。

③「Sony Picture Utility」を選択し、［削除］をクリックする。
アンインストールが実行されます。

写真をプリントする

PMB(Picture Motion Browser)からプリントする

PMB を使って、コンピューターからプリントできます。

1 **本機の使用方法選択画面で、←/→ ボタンを押して［プリントする］を選び、✣ ボタンを押す。**

2 **コンピューターのPMBを起動する。**

以下のいずれかの方法で起動します。

- デスクトップ画面上の （PMB）をダブルクリックする。
- Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Sony Picture Utility］－［PMB］の順にクリックする。

初めて起動したときは閲覧フォルダの登録画面が表示されます。

すでに「ピクチャ」に画像が保存されている場合は、［今すぐ登録］をクリックします。

「ピクチャ」以外のフォルダに画像が保存されている場合は、［後で登録］をクリックします。登録方法については、「閲覧フォルダを登録するには」（81 ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

- Windows XP の場合は、「ピクチャ」は「マイピクチャ」に読み換えてください。

「ピクチャ」にアクセスするには

［スタート］－［ピクチャ］の順にクリックします。

3 **［実行開始］をクリックする。**

PMB のメイン画面が表示されます。

2 回目以降の起動では、手順 3 は不要です。



メイン画面には、以下の 2 通りのビュー（表示方法）があります。表示を切り換えるには、左のフレームの［フォルダ］または［カレンダー］切り換えタブをクリックします。

- **フォルダビュー**
  登録したフォルダごとに画像を分類し、サムネイルを表示します。
- **カレンダービュー**
  カレンダー形式で撮影した日付ごとに画像を分類し、サムネイルを表示します。1 年単位、1ヶ月単位、または 1 時間単位の表示に切り換えることができます。

本書では、「フォルダビュー」を使用したときの印刷方法を説明します。

4 **プリントしたい静止画の入っているフォルダをクリックする。**

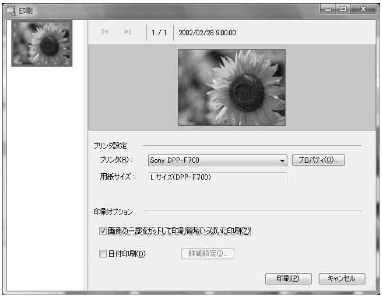
ここでは「サンプル」フォルダを使って説明します。

5 **プリントしたい静止画を選択し （印刷）をクリックする。**

［印刷］画面が表示されます。

6 **［プリンタ］ドロップダウンリストから［Sony DPP-F700］を選ぶ。**

印刷の向きやその他の詳細設定を行う場合は手順 7 へ、すぐに印刷を行う場合は手順 12 へ進む。



項目	設定内容
プリンタ	「Sony DPP-F700」を選択してください。
用紙サイズ	変更するには、［プロパティ］をクリックします。
印刷オプション	• 画像の一部をカットして印刷領域いっぱいに印刷：チェックを付けると、プリンターの印刷領域いっぱいに印刷します。そのため、画像の一部が切れることがあります。チェックをはずすと、画像をカットすることなく印刷します。 • 日付印刷：チェックを付けると、DCF 準拠の画像の場合、撮影日が印刷されます。
プロパティ	用紙サイズやプリント方向、画質設定など詳細の設定を行います。

7 **印刷の向きやその他の詳細設定を行うには、［プロパティ］をクリックする。**

選択したプリンターのプロパティ画面が表示されます。

なお、本機のプリンタードライバーは、マイクロソフト社の共通プリンタードライバーである Universal Printer Driver を利用しています。ダイアログボックスに表示される設定項目の中には、本機ではお使いにならない項目もあります。

8 **［レイアウト］タブで、用紙サイズなどを設定する。**



項目	設定内容
印刷の向き	画像に合わせて印刷の向きを選びます。 • 縦 • 横
ページの順序	印刷をページ順に行うか、または逆に行うかを設定します。通常は、「順」を選択してください。
シートごとのページ	1 ページに印刷するページ数を設定します。通常は、「1」を選択してください。
詳細設定	用紙サイズや他の項目を変更します。

9 **［詳細設定］ボタンをクリックする。**

「Sony DPP-F700 詳細オプション」画面が表示されます。

次のページにつづく



項目	設定内容
用紙／出力	• 用紙サイズ：お使いになるプリントペーパーのサイズを選びます。P サイズ、または L サイズを選びます。 • 部数：印刷部数を設定します。
グラフィックスーイメージの色の管理	• ICM の方法：本機は ICM の設定に対応しておりません。「ICM 無効」以外に設定しても印画結果には反映されません。そのままの設定でお使いください。 • ICM の目的：本機では ICM の設定は有効になりません。そのままの設定でお使いください。
ドキュメントのオプション	• 詳細な印刷機能：「有効」に設定すると、「シート毎のページ数」などの詳細な印刷オプションがオンになります。互換性に関する問題が生じた場合は、「無効」に設定してください。 • カラー印刷モード：カラーで印刷する場合は、「True Color (24bpp)」、白黒で印刷する場合は、「モノクロ」を選択してください。
プリンタの機能	• フチなし印刷：フチなし印刷を行う場合は「ON」、フチあり印刷を行う場合は「OFF」を選択してください。アプリケーションによっては、「ON」に設定してもフチなしにならない場合があります。印刷範囲いっぱいに印刷するように設定して印刷してください。 • オートファインプリント 7：「ON」、「OFF」から選択してください。「ON」に設定する場合は、「ICM の方法」は「ICM 無効」に設定してください。メモリーカードからのダイレクト印刷とは処理が異なり、Exif 情報の参照はありません。詳細は、「グラフィックスーイメージの色の管理」をご覧ください。 • プリント画質：R、G、B、シャープネスの設定値を変更できます。詳細は、66 ページをご覧ください。

10 **［用紙／品質］タブで、給紙方法や色（カラー／白黒）などを設定する。**



項目	設定内容
トレイの選択	「給紙方法」から、「自動選択」を選んでください。
色	カラーで印刷する場合は「カラー」、白黒で印刷する場合は「白黒」に設定してください。
詳細設定	用紙サイズや他の項目を変更します。詳細は、手順 9 をご覧ください。

11 **［OK］をクリックする。**

「印刷」画面が再び表示されます。

12 **［印刷］をクリックする。**

印刷が開始されます。

PMB の詳細設定については、PMB のヘルプをご覧ください。

ご注意

- 動画、BMP、RAWデータの印刷はできません。
- 本機は印刷ポジションにセットして使用してください。印刷ポジション以外では、印刷はできません。印刷ポジションについては、29 ページをご覧ください。

ちょっと一言

- メイン画面の画像表示エリアで連続している静止画を選ぶには、最初の静止画をクリックし、Shift キーを押しながら最後の静止画をクリックします。連続していない複数の静止画を選ぶには、Ctrl キーを押しながらクリックします。
- 一枚表示画面から印刷することもできます。
- 印刷を中止する場合は、以下の手順を行ってください。
  ① タスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックして、プリンタダイアログボックスを開く。
  ② キャンセルしたいドキュメント名をクリックし、メニューの［ドキュメント］－［キャンセル］を選択する。
  ③ 削除確認ダイアログボックスで、［はい］をクリックする。

ご注意

- 印刷を中止する際、印刷中の1枚を中断することはできません。

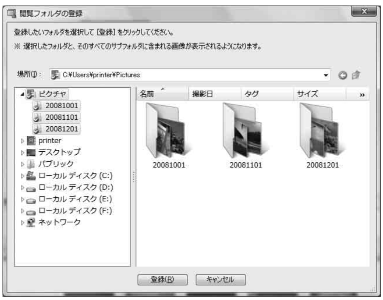
閲覧フォルダを登録するには

PMB では、コンピューター内の画像を直接見ることはできません。必ず登録が必要になります。登録は、以下の手順で行います。

1 **［ファイル］［閲覧フォルダの登録］または、をクリックする。**

閲覧フォルダの登録画面が表示されます。

2 **フォルダツリーから登録したいフォルダを選択して［登録］ボタンをクリックする。**



次のページにつづく

ご注意

- ドライブ全体を登録することはできません。

登録の確認画面が表示されます。

3 **［はい］をクリックする。**

画像情報のデータベースへの登録が始まります。

4 **［閉じる］をクリックする。**

ご注意

- 画像の取り込み先に選んだフォルダは自動的に登録されます。
- ここで登録されたフォルダを解除することはできません。

閲覧フォルダを変更するには

［ツール］－［設定］－［閲覧フォルダ］を選び、変更します。

ちょっと一言

- 取り込み元のフォルダ内にサブフォルダがある場合、サブフォルダ内の画像も登録されます。
- 本ソフトウェアを初めて起動する場合、［ピクチャ］の登録を促すメッセージが表示されます。
- 画像情報の登録は、画像の枚数によっては数十分かかることがあります。

市販のアプリケーションソフトからプリントする

「印刷」画面の「プリンタ」の項目で「DPP-F700」を選択し、ページ設定で用紙の選択などの設定を行うことによって、市販のアプリケーションソフトからもプリントできます。

ページ設定画面の詳細については、79 ページの手順 7、8 をご覧ください。

「プリンタの機能」の「フチなし」の設定について

PMB 以外のアプリケーションソフトでは、「Sony DPP-F700 詳細オプション」の「プリンタの機能」を「フチなし印刷」に設定しても、フチありでプリントされてしまうことがあります。

この項目を有効に設定した場合、アプリケーションソフト側に、フチなしで印刷できる範囲の情報が提供されますが、アプリケーションソフトによっては、その範囲でふちがつくようにレイアウトして印刷するものがあるためです。この場合は、以下の方法で印刷してください。

- 設定があるアプリケーションソフトでは、画像が印刷範囲をはみ出しても印刷範囲いっぱいに印刷するように設定します。

  たとえば、Windows Vista の「Windows フォトギャラリー」の画像の印刷では、「フルページ写真」を選び、「写真をフレームに合わせる」を選択します。

印刷前にプレビュー画像を表示して確認してください。

印刷の向きの設定について

お使いのアプリケーションソフトによっては、縦、横の設定を変更しても、同じプリント結果になる場合があります。

フチあり、フチなしの設定について

お使いのアプリケーションソフトにフチあり、フチなしの設定がある場合、プリンタードライバーの詳細オプション－プリンタの機能で「フチなし：ON」に設定することをお勧めします。

プリント枚数の設定について

使用するアプリケーションソフトによってはアプリケーションソフトで設定した値が優先されます。

困ったときは

エラーメッセージ

本機の液晶画面に次のようなエラーメッセージが表示されることがあります。以下に従って対処してください。

メモリーカード／内蔵メモリー

エラーメッセージ	意味／処理
メモリースティック／コンパクトフラッシュ／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card がありません。	• メモリーカードがそれぞれのスロットに入っていません。メモリーカードをそれぞれのスロットに入れてください。（→23 ページ）
非対応メモリースティック／コンパクトフラッシュ／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card が挿入されています。	• 非対応のメモリーカードが挿入されています。本機に対応しているメモリーカードをお使いください。
画像がありません。	• メモリーカードに本機で表示できる画像ファイルがありません。本機で表示できる画像ファイルの入ったメモリーカードをお使いください。
プロテクトファイルは削除できません。	• プロテクトファイルを削除するには、お使いのデジタルカメラやコンピューターでプロテクト設定を解除してください。
プロテクトされています。プロテクトを解除して、もう一度実行してください。	• メモリーカードが書き込み禁止になっています。誤消去防止スイッチを解除してください。（→101 ページ）
メモリースティック／コンパクトフラッシュ／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／内蔵メモリーが容量不足です。	• メモリーカードまたは内蔵メモリーの容量がいっぱいのため、追加保存できません。画像を削除するか、容量のあるメモリーカードをお使いください。
メモリースティック／コンパクトフラッシュ／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／内蔵メモリーにエラーがあります。	• **メモリーカードの場合** 何らかのエラーが発生しています。メモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。何度もこのエラーが表示される場合は、本機以外の機器でもメモリーカードの状態をご確認ください。 • **内蔵メモリーの場合** 内蔵メモリーは初期化を行なってください。 **ご注意** 初期化を実行すると、内蔵メモリーに取り込まれた画像ファイルはすべて消去されますので、ご注意ください。
メモリースティック／コンパクトフラッシュ／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／内蔵メモリーへの書き込みエラーです。	
読み出し専用のメモリースティックです。	• 読み出し専用の"メモリースティック"が挿入されています。書き出しをおこなうには、書き込みのできる"メモリースティック"を挿入してください。

エラーメッセージ	意味／処理
メモリースティックは保護されています。	• 保護されている“メモリースティック”が挿入されています。画像の編集、保存を行う場合は、お手持ちの機器で保護を解除してください。
サポートしていないフォーマットです。	• メモリーカードの場合は、ご使用のデジタルカメラなどでフォーマットを行ってからご使用ください。 • 内蔵メモリーの場合は、本機で初期化してください。 **ご注意** 初期化すると中のファイルはすべて削除されます。

画像データ

エラーメッセージ	意味／処理
この画像を開く事が出来ません。	• 本機でサポートしていないフォーマットの画像ファイルは、本機では表示したり開くことができません。
プリント予約された画像がありません。	• DPOF 設定された画像がありません。お使いのデジタルカメラで DPOF 設定を行ってください。

インクリボン

エラーメッセージ	意味／処理
インクリボンがありません。 インクリボンをセットして、 [印刷] を押してください。	• インクリボンを入れてください。「〇〇サイズ」と表示されている場合は、表示サイズのインクリボンを入れてください。(→30 ページ) 「クリーニング」と表示されている場合は、クリーニング用のクリーニングカートリッジを入れてください。(→97 ページ)
インクリボンがありません。 「〇〇サイズ」のインクリボンをセットして、[印刷] を押してください。	
インクリボンが終了しました。	• 新しいインクリボンを入れてください。「〇〇サイズ」と表示されている場合は、表示サイズのインクリボンを入れてください。(→30 ページ)
インクリボンが終了しました。 「〇〇サイズ」のインクリボンをセットして [印刷] を押してください。	
インクリボンが正しくありません。 「〇〇サイズ」のインクリボンをセットして、[印刷] を押してください。	• 表示されているサイズのインクリボンとプリントペーパーを入れてください。(→30 ページ)

次のページにつづく

プリントペーパー

<table>
<tr><th>エラーメッセージ</th><th>意味／処理</th></tr>
<tr><td>ペーパートレイがありません。
「○○サイズ」のプリントペーパーをセットしたペーパートレイを挿入し、［印刷］を押してください。</td><td rowspan="2">• 次のいずれかが考えられます。
– ペーパートレイが入っていません。
– プリントペーパーがペーパートレイにありません。
– プリントペーパーが終了しました。
• プリントペーパーをペーパートレイに入れてください。「○○サイズ」と表示されている場合は、表示サイズのプリントペーパーをペーパートレイに入れてください。（→31 ページ）</td></tr>
<tr><td>プリントペーパーがありません。
「○○サイズ」のプリントペーパーをセットして、［印刷］を押してください。</td></tr>
<tr><td>クリーニングシートがありません。
クリーニングシートをセットして、［印刷］を押してください。</td><td>• クリーニングシートがペーパートレイに入っていません。クリーニングシートをペーパートレイに入れてください。（→97 ページ）</td></tr>
<tr><td>プリントペーパーが違います。
「○○サイズ」プリントペーパーをセットして、［印刷］を押してください。</td><td>• 本機に入っているインクリボンのサイズと、プリントペーパーのサイズが合っていません。本機に入っているインクリボンのサイズを確認のうえ、同じサイズのプリントペーパーを入れてください。（→30 ページ、 31 ページ）</td></tr>
<tr><td>紙づまりです。
プリントペーパーを取り除いてください。</td><td>• プリントペーパーがつまっています。「プリントペーパーがつまったら」の手順に従ってプリントペーパーを取り除いてください。（→96 ページ)</td></tr>
</table>

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう 1 度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

電源

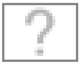
症状	チェック項目	対処方法
電源が入らない。	• 電源プラグは正しく差し込んでありますか？	→ 正しく接続してください。

画像を表示する

「電源は入っているが画像が表示されない。」、「操作画面の設定ができない。」または、「プリンターの電源は入っているが、印刷が始まらない。」こんな時は以下のチェック項目を確認してください。

症状	チェック項目	対処方法
画面に画像が表示されない。	• メモリーカードは正しく接続されていますか？	→ 正しく接続してください。（→23 ページ）
	• メモリーカードにはデジタルカメラなどで保存した画像が入っていますか？	→ 画像の入っているメモリーカードを入れてください。 → 表示可能なファイルフォーマットを確認してください。（→103 ページ）
	• ファイルフォーマットはDCFに準拠していますか？	→ DCF に準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。
	• 時計/カレンダー表示になっていませんか？	→ 画面の表示を時計 / カレンダー表示以外の設定に変更してください。（→24 ページ）
撮影日時順に表示されない。	• コンピューターから保存した画像ではありませんか？ • コンピューターで編集した画像ではありませんか？	→ コンピューター上で編集または保存すると、ファイルの撮影日時の情報が変更されたり、失われたりする可能性があります。
一部の画像が表示されない。 表示されているのにプリントできない。	• インデックス表示で画像が表示されていますか？	→ インデックス表示で画像が表示されているのに一枚表示できない場合は、サムネイルと呼ばれる表示用データは問題ありませんが、一枚表示させるための画像データが壊れている可能性があります。 → DCF に準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示およびプリントできない場合があります。

次のページにつづく

症状	チェック項目	対処方法
一部の画像が表示されない。 表示されているのにプリントできない。	• インデックス表示で、下のマークが表示されていますか？  • コンピューターのアプリケーションで作成した画像ではありませんか？	→ 左のマークが表示されている場合は、コンピューターで作成した JPEG ファイルなど、本機が対応していない画像ファイルか、対応している画像ファイルでも、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データ部分がない画像ファイルです。このマークを選択し、-◆-ボタンを押して一画面表示にし、画像が表示されればプリントが可能です。一画面表示にしても、左のマークが表示される場合は本機で対応できない画像ファイルのため、表示およびプリントできません。
	• インデックス表示で、下のマークが表示されていますか？ 	→ 左のマークが表示されている場合は、本機が対応している画像ファイルですが、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データが開けないか、または本画像が開けません。このマークを選択し、-◆-ボタンを押して一画面表示にし、画像が表示されればプリントが可能です。一画面表示にしても、左のマークが表示される場合は表示およびプリントできません。
	• メモリーカード内の画像枚数が 4,999 枚を超えていませんか？	→ 本機で再生、プリント、保存、削除など、扱える画像ファイル数は最大で 4,999 枚です。
	• コンピューターなどでファイル名を変更しましたか？	→ コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機で画像が表示できない場合があります。
	• メモリーカード内に 5 階層を超えるフォルダーがありませんか？	→ 5 層を超えるフォルダー内にある画像データは、本機では表示できません。
ファイル名が正しく表示されない。	• コンピューターなどでファイル名を変更しましたか？	→ コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機でファイル名が正しく表示されない場合があります。
画像編集でプレビュー画面に上下の余白ができる。	• 極端に縦長または横長の画像ではありませんか？	→ 極端に縦長または横長の画像は、画像編集の際、比率の関係で上下に余白が生じることがあります。 → デジタルカメラで撮影した画像の縦横比は一般的に 3:4 ですが、画像を編集、保存できる本機以外の機器で編集、保存された画像は、3:4 よりも横長のプリントイメージとして保存されることがあるため、一覧表示ではカットされた上下部分が黒く表示されます。

症状	チェック項目	対処方法
本機を縦置きにしても、画像が自動的に回転しない。	• 本体設定の [自動縦横判別] は [OFF] になっていませんか？ • 画像詳細表示で回転情報が [回転なし] になっていませんか？	→ 本体設定の[自動縦横判別]を[ON]にしてください。(→ 63 ページ) → 画像詳細表示で回転情報が[回転なし]になっている場合、画像を手動操作で回転させることができます。(→ 50 ページ)

画像を保存、削除する

症状	チェック項目	対処方法
保存できない。	• メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？	→ 書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
	• メモリーカードの誤消去防止スイッチが［LOCK］になっていませんか？	→ 誤消去防止スイッチを解除してください。
	• メモリーカードがいっぱいになっていませんか？	→ 不要な画像を削除してください。(→45 ページ）または、充分なメモリー残量のあるメモリーカードに交換してください。
	• 内蔵メモリーがいっぱいになっていませんか？	→ 不要な画像を削除してください。(→45 ページ)
	• フォルダーを作成せずにコンピューターから画像を保存していませんか？	→ フォルダーを作成していない場合、保存できる画像ファイル数は最大 512 枚までです。さらに、ファイル名の長さや文字の種類によって、保存できる枚数が減少することがあります。コンピューターから画像を保存するときは、コンピューター上で内蔵メモリーにフォルダーを作成して、そのフォルダーに保存してください。
削除できない。	• メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？	→ お手持ちの機器で書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
	• メモリーカードの誤消去防止スイッチが［LOCK］になっていませんか？	→ 誤消去防止スイッチを解除してください。
	• "メモリースティック -ROM" ですか？	→ "メモリースティック -ROM" については、画像の削除と初期化はできません。
	• プロテクトされた画像ではありませんか？	→ 一枚表示画面から撮影情報表示を確認してください。(→14 ページ) マークのある画像は読み取り専用画像です。本機からは削除できません。
誤って消してしまった。	ー	→ 1 度削除したファイルは元に戻せません。

次のページにつづく

リモコン

症状	チェック項目	対処方法
何も反応しない	• 電池は入っていますか？	→ 電池を交換してください。（➡18 ページ） → 電池が入っていません。（➡18 ページ） → 電池が正しく入っていません。（➡18 ページ）
	ー	→ リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて操作してください。（➡18 ページ） → 本体リモコン受光部の近くには物を置かないでください。
	• 保護シートが入っていませんか？	→ 保護シートを引き抜いてください。（➡18 ページ）

プリントする

プリントペーパーをペーパートレイに入れて印刷を実行すると、給紙されない、複数枚重なって給紙される、斜めに給紙される、こんな時は以下のチェック項目を確認してください。

症状	チェック項目	対処方法
給紙されない。	• プリントペーパーはペーパートレイに正しく入っていますか？	→ プリントペーパーが正しく入っていないと、故障の原因になります。以下の項目についてチェックしてください。（➡31 ページ） • 正しい組合せのプリントペーパーとインクリボンを入れてください。 • プリントペーパーは正しい向きで白無地を上にして入れてください。 • トレイにはプリントペーパーは一度に 20 枚までしか入りません。20 枚以上の場合は取り除き 20 枚までにしてください。 • L サイズのプリントペーパーをお使いの場合、L サイズのアダプターを正しくセットしてください。 • プリントペーパーをよくさばいて、トレイに入れてください。 • プリントする前の用紙を折ったり曲げたりしないでください。
	• 本機で使用できないプリントペーパーをお使いではありませんか？	→ 指定されたプリントペーパーをお使いください。指定外のプリントペーパーを使用すると、故障の原因になります。（➡ **別紙「プリントパックについて」**）

症状	チェック項目	対処方法
プリントペーパーが白紙で出てくる。	• ミシン目が切り離されていませんか？ • 本機で使用できないプリントペーパーをお使いではありませんか？	→ 指定されたプリントペーパーをお使いください。指定外のプリントペーパーをお使いになると、故障の原因になります。（→ **別紙「プリントパックについて」**）

プリント結果

症状	チェック項目	対処方法
プリント画質が悪い。	• プレビュー画像データをプリントしていませんか？	→ ご使用のデジタルカメラの種類によっては、画像の一覧表示で本画像データの他にプレビュー画像データなどが表示される場合があります。このプレビュー画像データなどをプリントした場合、プリント画質は本画像データをプリントしたときに比べ低下します。また、画像を削除する場合は、プレビュー画像データを削除すると本画像データが開けなくなる場合がありますので、データ内容について確認してください。
	• 画像サイズの縦または横が 480 ドット以下の画像をプリントしていませんか？	→ インデックス表示画面で黒枠付きで小さく表示されている画像は、画像サイズが小さいため、プリントは粗くなります。
	• 画像編集で画像を拡大していませんか？	→ 拡大した場合は、画像サイズによっては画質が低下することがあります。
画面に表示される画像と実際にプリントされる画像の画質または色が異なっている。	−	→ 発色方法の違いや液晶画面個々の特性の違いによるもので、故障ではありません。それぞれの方法や特性に適した画像に調整してあります。なお、画質の設定は次の設定で行うことができます。 • メニューボタン－［設定］－［プリント設定］－［プリント画質］（→ 66 ページ） • 画質調整はクリエイティブプリントメニューからのみ操作可能です。詳しくは、59 ページをご覧ください。
メモリーカードや内蔵メモリーからダイレクトにプリントした場合と、コンピューター経由でプリントした場合とでは、プリントイメージが異なる。	−	→ 本機内部での処理とコンピューターのソフトウェアでの処理の違いもあり、まったく同じにはなりません。

次のページにつづく

症状	チェック項目	対処方法
日付けがプリントされない。	•［日付プリント］設定が「日付」／「日付／時間」になっていますか？	•「OFF」の場合、［メニュー］－［設定］－［プリント設定］－［日付プリント］の設定を「日付」／「日付／時間」に切り換えてください。（➡65 ページ）
	• DCFに準拠した画像ファイルですか？	➔ 本機の［日付プリント］は、DCF に準拠した画像ファイルのみをサポートしています。
	• スライドショーから印刷していませんか？	➔ 液晶画面に表示されるレイアウトのまま印刷するため、日付プリントの設定は無効になります。
日付けがプリントされてしまう。	•［日付プリント］設定が「OFF」になっていますか？	➔「日付」／「日付／時間」の場合、［メニュー］－［設定］－［プリント設定］－［日付プリント］の設定を「OFF」に切り換えてください。（➡65 ページ）
	• デジタルカメラでの撮影時に、日付けも一緒に画像に入っていませんか？	➔ 画像に日付が入っている場合は、日付なしのプリントはできません。
印画範囲いっぱいに印画されない。余白が残る。	•［プリント仕上げ］設定が［フチあり 1］または［フチあり 2］になっていませんか？	➔ メニューボタン－［設定］－［プリント設定］－［プリント仕上げ］の設定を「フチなし」に切り換えてください。（➡65 ページ）
	• 画像の縦横比は、合っていますか？	➔ ご使用のデジタルカメラの種類によっては、記録される画像の縦横比が異なるため、本機の印画範囲いっぱいにプリントされない場合があります。
［フチなし］プリントに設定しているのにプリントしたら左右に余白が残った。	• スライドショーから印刷していませんか？	➔ スライドショーでの印刷は、液晶画面に表示されるレイアウトのまま印刷するため、フチなし印刷の設定は無効になります。
	－	➔ 画像を編集、保存できる本機以外の機器で編集、保存された画像には、画像の周囲の余白部分も画像データとして保存されることがあります。このような画像の場合［フチなし］プリントに設定しても左右に余白が残ります。（➡65 ページ）
画像全体をプリントできない。	•［プリント仕上げ］設定が［フチあり 1］になっていますか？	➔［フチあり 1］に設定すると画像全体がプリントされます。（➡65 ページ）
斜めにプリントされてしまう。	• ペーパートレイが斜めに装着されていませんか？	➔ ペーパートレイを再度固定するまでしっかりとまっすぐに差し込んでください。

症状	チェック項目	対処方法
白いスジやキズが入る。	ー	→ 付属のクリーニングカートリッジでプリントヘッドなど本機内部のクリーニングをしてみてください。（→97 ページ）
画像が暗い、明るい、赤すぎる、黄色すぎる、緑色すぎる。	ー	→ 画質調整で修正してください。 画質調整はクリエイティブプリントメニューからのみ操作可能です。詳しくは、59 ページをご覧ください。

設定する

症状	チェック項目	対処方法
フチあり／なし設定ができない。	• クリエイティブプリント機能をお使いですか？	→ テンプレートを使用しているため、 フチあり／なしの選択はできません。

コンピューターとの接続

症状	チェック項目	対処方法
本機に接続したメモリーカードの画像がコンピューターで見られない。	ー	→ 本機には、コンピューターから本機のメモリーカードの画像を読みとる機能はありません。
ドライバー CD-ROM を紛失したので入手したい。	ー	→ ソニーデジタルフォトプリンターホームページ（http://www.sony.co.jp/DPP/）または、ソニーデジタルフォトフレームホームページ（http://www.sony.co.jp/DPF/）からダウンロードしていただくか、またはお買い上げの販売店にご相談ください。
ドライバーがインストールできない。	• 手順通りインストールされていますか？	→ 取扱説明書の手順に従って、正しくインストールしてください。エラーが発生してインストールが強制終了した場合は、コンピューターを再起動して再インストールしてください。
	• 他のアプリケーションを起動していませんか？	→ 他のアプリケーションソフトをすべて終了し、もう一度インストールしてください。
	• インストール用 CD-ROM ドライブが正しく指定されていますか？	→ コンピュータ（マイコンピュータ）をダブルクリックして、開いたウィンドウにある CD-ROM アイコンをダブルクリックします。以降の操作は、本書 74 ページをご覧ください。
	ー	→ USB ドライバーが正しくインストールされていないことがあります。もう一度、取扱説明書に従ってインストールしてください。

次のページにつづく

症状	チェック項目	対処方法
ドライバーがインストールできない。	• ウイルス検知プログラムやシステムに常駐するプログラムがありませんか？	→ ウイルス検知プログラムやシステムに常駐するプログラムがある場合、終了してください。終了した後、再度プリンタードライバーのインストールを行ってください。
	• 管理者権限のあるユーザーでログインされていますか？	→ 管理者権限のあるユーザーでログインしてからインストール作業を行ってください。
コンピューターから印刷実行指示をしても本機が反応しない。	–	→ コンピューター画面上にエラーがない状態で本機が反応しない場合は、本機の液晶画面を確認してください。 エラー表示が出ている場合、以下の操作を行ってください。 1.本機の電源を切る。 2.AC アダプターをコンセントから抜く。 3.そのまま 5 秒～ 10 秒程度放置し、再度 AC アダプターをコンセントにつなぐ。 4.コンピューターを再起動する。 上記の操作を行っても問題が解決しない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口までご相談ください。
フチなしに設定しても、ふち付きでプリントされてしまう。	• PMB 以外のアプリケーションをお使いですか？	→ PMB 以外のアプリケーションでは、「フチなしプリント」に設定しても、フチありにレイアウトして印刷するものがあります。以下の設定をしてください。 – フチあり／なしの設定項目があるアプリケーションでは、画像が印刷範囲をはみ出しても印刷範囲いっぱいに印刷するように設定する。
ドライバーの［レイアウト］タブの［シートごとのページ］で設定した枚数と印画結果が違う。	–	→ 使用するアプリケーションによっては、アプリケーションで設定した値が優先されます。
メモリーカードから印刷したときと色が異なる	–	→ メモリーカードからの印刷とコンピューターからの印刷では、印刷までの処理が異なるので、全く同じにはなりません。
「ドキュメントを USB に出力するときエラーが見つかりました。」のメッセージが表示される。	–	→ 一度 USB ケーブルをはずしてから、再度接続し直してください。

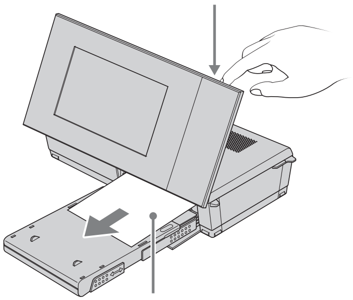
その他

症状	チェック項目	対処方法
インクリボンがうまく入らない。	ー	➔ いったんインクリボンを取り出してから、入れなおしてください。リボンがたるんでうまく入らない場合は、リボンのたるみを取ってください。(➞30 ページ)
インクリボンが取り出せない。	ー	➔ 本機の電源を入れ直してください。本機内部の動作音が止まったらインクリボンを取り出してください。それでも取り出せないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

プリントペーパーがつまったら

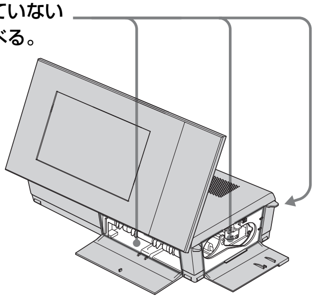
1 **インクリボン、ペーパートレイを取りはずさずに、⏻（電源）ボタンを押しいったん電源を切ってから、再度入れる。**

自動的にプリントペーパーが排出されますので、お待ちください。



2 **排出されたプリントペーパーを取り除く。**

3 **ペーパートレイとインクリボンを取り出して、内部にプリントペーパーがつまっていないことを確認する。**



ちょっと一言

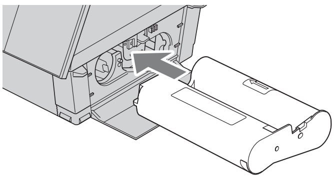
- プリントペーパーを取り出せない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

クリーニングをする

プリント上に白いスジや周期的に点状のキズが入るようになった場合は、ごみがプリンター内に付着し熱転写ヘッドが汚れている可能性があります。同梱されているクリーニングカートリッジとクリーニングシートを使い、内部のクリーニングを行ってください。クリーニングを行う場合は、あらかじめメモリーカード、USB ケーブルなどをはずしてください。

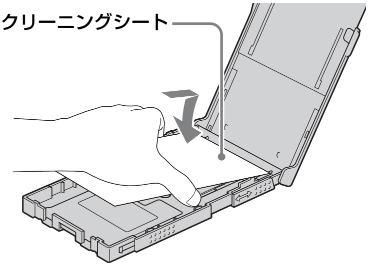
1 **インクリボンドアを開け、印刷用のインクリボンが入っている場合には、インクリボンを取り出す。**

2 **付属のクリーニングカートリッジを入れ、インクリボンドアを閉める。**



3 **ペーパートレイを抜き、印刷用のプリントペーパーが入っている場合はすべて取り出す。**

4 **クリーニングシートを印刷のない面を上にして、ペーパートレイにセットする。**



5 **ペーパートレイを本機にセットし、印刷ボタンを押す。**

クリーニングカートリッジとクリーニングシートが本機内部をクリーニングします。クリーニング中は印刷ランプが点滅します。クリーニングが終わるとクリーニングシートがペーパートレイに排紙されます。

6 **クリーニングカートリッジとクリーニングシートを取りはずす。**

ちょっと一言

- クリーニングカートリッジとクリーニングシートはなくさずに保存してください。

ご注意

- 正常なプリント結果が得られる状態で、クリーニングを行っても、プリント画質が向上することはありません。
- 印刷用のプリントペーパーの上にクリーニングシートを重ねて使用しないでください。紙づまりなどの原因になります。
- 一度では、クリーニング効果が得られない場合があります。その場合は、2、3 度クリーニングすることをおすすめします。
- コンピューター接続中はクリーニングできません。

その他

メモリーカードについて

“ メモリースティック ”

本機でお使いになれる “ メモリースティック ”

本機では以下の“メモリースティック”をご使用になれます。[*1]

“メモリースティック”の種類	表示・印刷・削除・保存
“ メモリースティック ” [*2]（“マジックゲート”非対応）	○
“ メモリースティック ” [*2]（“ マジックゲート ” 対応）	○ [*5]
“ マジックゲートメモリースティック ” [*2]	○ [*5]
“ メモリースティック PRO” [*2]	○ [*5]
“ メモリースティック PRO-HG” [*2]	○ [*5*6]
“ メモリースティック マイクロ ” [*3]（“M2” [*4]）	○ [*5]

[*1] 本機は FAT32 に対応しています。16GB までのソニー製 “ メモリースティック ” で動作確認を行っています。ただし、すべての “ メモリースティック ” メディアの動作を保証するものではありません。

[*2] 本機には、スタンダード／デュオ サイズ対応スロットが搭載されています。“ メモリースティック デュオ ” アダプターなしで、標準サイズの “ メモリースティック ”、小型の “ メモリースティック デュオ ” のどちらでもご使用いただけます。

[*3] “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”を“M2” アダプターに入れてからお使いください。

[*4] “M2”は、“メモリースティック マイクロ”の略称です。本文では今後略称 “M2” を用いて記述します。

[*5] 著作権保護技術（“ マジックゲート ”）が必要なデータの読み込み、記録はできません。“ マジックゲート ” とは、ソニーが開発した、暗号化技術を使って著作権を保護する技術の総称です。

[*6] 本機は、8 ビットパラレルデータ転送には対応しておりません。

使用上のご注意

- 使用可能な“メモリースティック”についての最新情報は、ホームページ上の「“ メモリースティック ” 対応表」をご確認ください。（裏表紙）
- 複数の“メモリースティック”を同時に挿入しないでください。機器の破損の原因となる場合があります。
- “ メモリースティック マイクロ ” を本機でお使いの場合は、必ず “ メモリースティック マイクロ ” を “M2” アダプターに入れてからお使いください。
- “メモリースティック マイクロ”を“M2”アダプターに装着せずに挿入されますと、取り出せなくなる可能性があります。
- デュオサイズの“M2”アダプターに“メモリースティック マイクロ ” を入れ、それをさらに “ メモリースティック デュオ ” アダプターに入れて使用した場合、動作しない場合があります。
- “メモリースティック”を初期化するときは、ご使用になっているデジタルカメラで初期化してください。コンピューターでフォーマットした場合、画像が表示されないことがあります。

- フォーマットを実行するとプロテクトをかけてある画像ファイルもすべて削除されます。誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。
- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると保存、削除ができなくなります。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。また、ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部にはみ出さないように貼ってください。

SD メモリーカード

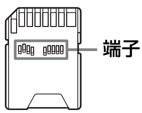
本機では下記をご使用になれます。

- SD メモリーカード[*1]
- miniSD カード、microSD カード（アダプターが必要です）[*2]
- SDHC メモリーカード[*3]
- MMC 規格メモリーカード[*4]

ただし、すべての SD メモリーカード、MMC 規格メモリーカードの動作を保証するものではありません。

[*1] 32GB までの SD メモリーカードで動作確認を行っています。

[*2] 市販のカードアダプターによっては、裏面中央部に端子が出ているものがあります。本機では、このようなタイプのアダプターは正しく動作しない場合があります。



[*3] 32GBまでのSDHCメモリーカードで動作確認を行っています。

[*4] 2GBまでのMMC規格メモリーカードで動作確認を行っています。

使用上のご注意

- 著作権保護技術が必要なデータの読み込み、記録はできません。

xD-Picture Card

本機は、xD-Picture Card[*5] をご使用になれます。ただし、すべての xD-Picture Card の動作を保証するものではありません。

[*5] 2GB までの xD-Picture Card で動作確認を行っています。

コンパクトフラッシュカード

本機では下記をご使用になれます。

- CompactFlash Memory Card（Type I/Type II）または CF+Card（Type I/Type II）準拠のコンパクトフラッシュカード（[*6]）

ただし、すべてのコンパクトフラッシュカードの動作を保証するものではありません。

[*6] コンパクトフラッシュカードは、電源仕様が 3.3V あるいは、3.3V/5V のものをお使いください。5V 専用、または 3V 専用のタイプは、お使いになれません。対応以外のメモリーカードを無理にお使いになると、本機の故障の原因となります。32GB までのコンパクトフラッシュカードで動作確認を行っています。

カード使用上のご注意

- ご使用の際は、正しい挿入方向をご確認のうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となります。
- メモリーカードを挿入するとき、無理な力をくわえて挿入をすると、メモリーカードまたは本機を破損する恐れがあります。
- データの読み込み、書き込み中、アクセス中に、カードを抜かないでください。または電源を切らないでください。データが消えたり壊れたりすることがあります。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- コンピューターで加工した画像は、再生できないことがあります。
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所

主な仕様

■ 本体

プリント方式
昇華型熱転写方式YMC3色重ね

プリント解像度
300dpi×300dpi

画像処理
YMC各8ビット（256階調）

印刷範囲
1,800ドット×1,200ドット

プリントサイズ
Lサイズ
89×127 mm（最大、フチなし）
Pサイズ
101.6×152.4 mm
（最大、フチなし）

プリント時間（1枚） *1*2
[内蔵メモリー] *3／[メモリーカード] *4／［PC］ *5
Lサイズ：約39秒
Pサイズ：約45秒

使用インクリボン / プリントペーパー
→別紙「プリントパックについて」参照

液晶画面
液晶パネル:
7.0型、TFT駆動
総ドット数:
1,152,000
（800×3(RGB)×480）ドット

有効表示画面
表示アスペクト比：
16:10
有効表示画面エリア:
6.8型
総ドット数:
1,105,920
（768×3(RGB)×480）ドット

液晶バックライト寿命
20,000時間
（バックライトの輝度が半減するまでの時間）

入出力端子
USB端子（TypeB、Full-Speed USB）
“メモリースティック”スロット（スタンダード／デュオ）／SDメモリーカードスロット／xD-Picture Cardスロット／MMCカードスロット／コンパクトフラッシュカードスロット

表示／プリント可能なファイルフォーマット
JPEG：　DCF 2.0準拠、Exif 2.21準拠、JFIF *6
TIFF：　Exif 2.21準拠
BMP*7：1、4、8、16、24、32ビット Windows形式

画像の形式によっては、対応できないことがあります。

最大再生画素数
8,000×6,000ドット*8

ファイルシステム
FAT12/16/32

セクタサイズ
2048バイト以下

画像ファイル名
DCF形式、256文字 5階層以下

最大画像ファイル数
メモリーカード1枚につき4,999枚

内蔵メモリー容量 *9
1GB
（保存ファイル数：約2,000枚*10）

電源
DC IN端子入力、DC24V

消費電力
100 W（最大）
スタンバイ時：1 W以下
* 通常モードの定義は“出荷時設定にて内蔵メモリー内に保存したデータをスライドショーしている状態でメモリーカードを取り付けていない状態”です。

その他

次のページにつづく

動作温度

5℃〜35℃

外形寸法

横置き：約276×150×186 mm
（スタンドセット時）
縦置き：約149×275×185 mm
（スタンドセット時）
印刷ポジション（平置き）：
液晶画面を閉じた状態
約276×85×149 mm
（幅／高さ／奥行き）
ペーパートレイ取り付け時の奥行き
Pサイズ：約306 mm
Lサイズ：約281 mm

質量

約1.8kg
（ペーパートレイ約115 g、インクリボン、ACアダプター含まず）

同梱品

「同梱品を確認する」（10ページ）参照

■ AC アダプター AC-S2422

定格入力

AC100V - 240V、50/60Hz
1.5A － 0.75A

定格出力

DC24 V 2.2 A
(Peak3.7A-6.5S)

外形寸法

約60×30.5×122 mm
（幅／高さ／奥行き）
（突起部、ケーブル含まず）

質量

約305 g

その他の仕様については、AC アダプターのラベルをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

* プリント可能な枚数の目安は約 2,000 枚（Pサイズ）です。総プリント枚数については、設定メニューの本体情報表示をご覧ください。

*1 印刷ボタンを押してからプリントペーパーが排紙されるまでの平均時間
（画像データの大きさや形式、使用条件によって変わる場合があります。）

*2 プリント設定：［プリント仕上げ］を［フチなし］、［日付プリント］を［OFF］、［オートファインプリント 7］を［ON］

*3 本機を［リサイズ］（64ページ）に設定して当社の有効 1210 万画素相当のデジタルカメラで撮影した画像（ファイルサイズ約 4.1 MB）を内蔵メモリーに取り込んだ画像（約 400 KB）

*4 *3 の画像をソニー製 " メモリースティック PRO デュオ " に書き出した画像。本機のスロットに " メモリースティック PRO デュオ " を挿入してプリント

*5 データ転送時間とデータ処理時間を除く

*6 4：4：4、4：2：2、4：2：0 形式のベースライン JPEG

*7 PMB(Picture Motion Browser) からは印刷できません。

*8 縦、横とも、17 ドット以上ある必要があります。縦横の比が 20:1 以上ある画像は正しく表示できない場合があります。
また、20:1 以下でもサムネール表示や、スライドショーで表示されない場合があります。

*9 容量は、1 MBを100万バイトで計算した場合の数値です。また、管理用ファイル、アプリケーションなどをふくむため、実際に使用できる容量は減少します。ご使用頂けるユーザー容量は、約 940 MB です。

*10 保存枚数は、リサイズして画像取込を行った際の目安です。
リサイズして画像取り込みを行った場合、200 万画素相当に自動的にリサイズされます。
被写体および撮影条件によって異なります。

商標について

- S-Frame、Cyber-shot、MEMORY STICK、"Memory Stick"、" メモリースティック "、MEMORY STICK、"Memory Stick Duo"、" メモリースティック Duo"、" メモリースティック デュオ "、MEMORY STICK DUO、"MagicGate Memory Stick"、" マジックゲートメモリースティック "、"Memory Stick PRO"、" メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick PRO Duo"、" メモリースティック PRO Duo"、 "メモリースティック PRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"Memory Stick PRO-HG Duo"、" メモリースティック PRO-HG Duo"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"Memory Stick Micro"、 " メモリースティック マイクロ"、MEMORY STICK MICRO、M2、"Memory Stick-ROM"、" メモリースティック - ROM"、MEMORY STICK-ROM、"MagicGate"、" マジックゲート "、MAGICGATE は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista および DirectX は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。
- Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標または商標です。
- コンパクトフラッシュ（CompactFlash）は、米国サンディスク社の商標です。
- xD-Picture Card、xD-Picture Card™ は、富士フイルム株式会社の商標です。
- Monotype Imaging Inc. のフォントを搭載しています。iType™ は、Monotype Image inc. の商標です。
- SD ロゴは商標です。
- SDHC ロゴは商標です。
- Libtiff
  Copyright © 1988 - 1997 Sam Leffler
  Copyright © 1991 - 1997 Silicon Graphics, Inc.
- Lua
  Copyright © 1994-2008 Lua.org, PUC-Rio.
- Full FreeType License
  Copyright 1996-2002, 2006 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。
- 他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。

使用上のご注意

設置上のご注意

- 水平な場所に置いてください。
- ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  – 不安定なところ
  – ほこりの多いところ
  – 極端に寒いところや暑いところ
  – 振動の多いところ
  – 湿気の多いところ
  – 直射日光の当たるところ
- 本体の通風口をふさがないようにしてください。故障の原因となります。

AC アダプターについてのご注意

- 電源コンセントの形状は各国、各地によって異なりますのでお出かけ前にご確認ください。本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因になります。
- 付属以外の AC アダプターを使用しないでください。

結露について

結露とは、寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部に水滴がつくことです。

この状態で本機を使用すると、正常に動かず、故障の原因となります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

引っ越しなどで輸送する場合は

輸送する場合は、インクリボン、ペーパートレイ、メモリーカード、AC アダプター、ケーブル類を本体から取りはずし、本機が梱包されていた梱包材および梱包箱に入れてください。これらがない場合は、輸送中の衝撃に耐えるように梱包してください。

お手入れ

本機の汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。シンナーやベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

本機を破棄するときのご注意

本機で [内蔵メモリーの初期化] を行っても、内蔵メモリー内のデータは完全に消去されないことがあります。本機を破棄するときは、物理的に破壊することをおすすめします。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう 1 度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、またはソニーの相談窓口へご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルフォトプリンター／フレームの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低 5 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーの相談窓口にご相談ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DPP-F700
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日
- コンピューターをご使用の場合はコンピューターの環境：
  - ご使用コンピューターの機種名
  - メモリー容量
  - ハードディスクなどの容量
  - プリンタードライバーのバージョン

警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

➡ 2 〜 3 ページもあわせてお読みください。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

分解禁止

内部に水や異物（金属物や燃えやすい物など）を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜き、接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重い物をのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

禁止

機器本体や付属品、インクリボンは、幼児の手の届かない場所におく

内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。また、本体小物部品、電源の保護シート、“ メモリースティック ” などのメモリーカードや､デュオサイズの “M2” アダプターなどの変換アダプターを飲み込む恐れがあります。幼児の手の届かない場所に置き、お子様が触らぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

禁止

手を挟まれないよう注意

付属の AC アダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となることがあります。

禁止

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差したり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所では使わない

火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

縦置き･横置きの際は、スタンドを使用してください。

本機は壁掛けには対応していません。

禁止

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から 20 cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- 横倒しや逆さまで使用しない。

禁止

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。

指示

通電中の本機や AC アダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

接触禁止

移動させるとき、長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

本機やAC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

次のページにつづく

本体内部の部品をさわらない

接触禁止

機構部品により、けがの原因となることがあります。
また、高温になった部品にさわると、火傷の原因となることがあります。
ケースが破損しても本体内部の部品には触れないでください。
高電圧部品により感電することがあります。

スタンドは、しっかりと取り付けてください

指示

スタンドがゆるんでいると、本体や付属品が落下、転倒し、けがや家財の破損の原因になることがあります。
また、スタンドの取り付け、取りはずしの際は、本体や付属品の落下に注意してください。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

動作中、通紙扉に手を触れない、また、覗かない

急に紙が出てきて、けがの原因になることがあります。

禁止

本体の上に乗らない、重いものを載せない、ぶら下がらない

落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

電子コード、接続コード、ペーパートレイ、インクリボンドア、スタンド、液晶部を持って本体を持ち上げない

落ちたり壊れたりして、けがの原因になることがあります。

禁止

液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面に強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

禁止

CD-ROM について

同梱されている CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーにかけないでください。耳の障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホン等を破損する恐れがあり、故障の原因になることがあります。

禁止

お手入れの際は、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

禁止

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

禁止

電源コードや接続ケーブルを AC アダプターに巻きつけない

断線や故障の原因となることがあります。

禁止

雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない

本機や電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

接触禁止

デバイスの取り付け、または取りはずすときは本体を持つ

メモリーカード、コネクターなどを本機に取り付けたり、取りはずすときは、本体に手を添えて行ってください。

本機が落ちると、けがの原因となることがあります。

指示

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

ぬれ手禁止

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

指示

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

禁止

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

禁止

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

指定以外の電池を使わない

禁止

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
指定の電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

＋と－の向きを正しく入れる

指示

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

指示

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンの電池ホルダーを開けて使用しない

指示

リモコンの電池ホルダーを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。
指定の電池を使用し、電池ホルダーを閉めて使用してください。

索引

アルファベット順

五十音順